

# 学校調査

## 1 小学校

### (1) 学校数

学校数は 985 校（本校 981 校、分校 4 校）で、前年度に比べ 4 校（ 0.4% ）減少しています。

設置者別にみると、国立が 2 校（構成比 0.2% ）、公立が 982 校（同 99.7% ）、私立が 1 校（同 0.1% ）となっています。（表 1-1, 統計表第 1 表, 第 9 表）

類型別にみると、複式学級のある学校（複式学級のみを含む）は 30 校（構成比 3.0% ）で、前年度に比べ 2 校（ 6.3% ）減少しています。75 条の学級のある学校（75 条の学級のみを含む）は 741 校（構成比 75.2% ）で、前年度に比べ 27 校（3.8% ）増加しています。（統計表第 6 表）

表 1-1 学校数及び学級数の推移（小学校）

区 分	学校数	学校数			学級数				1校当たりの学級数	
		国立	公立	私立	単式	複式	75条	愛知県	全 国	
平成14年度	990	2	987	1	14,297	13,288	71	938	14.4	11.4
15	991	2	988	1	14,672	13,599	72	1,001	14.8	11.5
16	991	2	988	1	14,985	13,849	75	1,061	15.1	11.7
17	989	2	986	1	15,237	14,034	66	1,137	15.4	11.9
18	985	2	982	1	15,482	14,207	63	1,212	15.7	12.1

### (2) 学級数

学級数は 15,482 学級で、前年度に比べ 245 学級（1.6% ）増加しています。

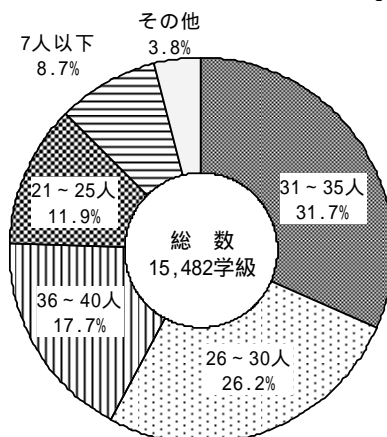
（表 1-1, 統計表第 1 表）

編制方式別にみると、単式学級が 14,207 学級（構成比 91.8% ）、複式学級が 63 学級（同 0.4% ）、75 条の学級が 1,212 学級（同 7.8% ）となっています。

75 条の学級の内訳をみると、知的障害 666 学級（構成比 55.0% ）、情緒障害 496 学級（同 40.9% ）、病弱・身体虚弱 25 学級（同 2.1% ）の順となっています。

（統計表第 9 表, 第 11 表）

図 1-1 収容人員別学級数の割合（小学校）



収容人員別学級数についてみると、31～35人学級が4,906学級（構成比31.7%）と最も多く、次いで26～30人学級が4,059学級（同26.2%）、36～40人学級が2,748学級（同17.7%）の順となっています。（図1-1、統計表第8表）

1校当たりの学級数は15.7学級で、前年度に比べ0.3ポイント上昇しています。なお、全国平均は12.1学級となっています。（表1-1）

### (3) 児童数

児童数は436,364人（男子223,277人、女子213,087人）で、前年度に比べ4,040人（0.9%）増加しています。昭和56年度のピーク時（684,239人）に比べ36.2%減少しているものの、5年連続の増加となっています。（表1-2、統計表第1表）

表1-2 児童数及び教員数（本務者）の推移（小学校）

区分	児童数	対前年度増減率	児童数		1学級当たりの児童数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの児童数	
			男	女	愛知県	全国		愛知県	全国
平成14年度	419,519	0.2	214,308	205,211	29.3	26.7	20,712	20.3	17.6
15	423,204	0.9	216,139	207,065	28.8	26.5	21,029	20.1	17.5
16	427,226	1.0	218,493	208,733	28.5	26.3	21,301	20.1	17.4
17	432,324	1.2	221,065	211,259	28.4	26.1	21,662	20.0	17.3
18	436,364	0.9	223,277	213,087	28.2	25.9	21,901	19.9	17.2

市町村別にみると、春日井市の379人を始め48市町で増加し、新城市の81人を始め14市町村で減少しています。なお、東栄町は同数となっています。（表1-3）

表1-3 児童数増減上位市町村（小学校）

市町村名	対前年度増加数 (48市町)	市町村名	対前年度減少数 (14市町村)
春日井市	379	新城市	81
名古屋市	341	蟹江町	58
一宮市	275	蒲郡市	52
安城市	274	南知多町	34
豊橋市	217	幡豆町	24

1学級当たりの児童数は28.2人で、前年度に比べ0.2人減少しています。なお、全国平均は25.9人となっています。（表1-2）

75条の学級在籍児童数は3,941人で、前年度に比べ358人（10.0%）増加しています。内訳をみると、知的障害2,192人（構成比55.6%）、情緒障害1,631人（同41.4%）、病弱・身体虚弱68人（同1.7%）の順となっています。（統計表第11表）

児童数のうち外国人数は5,361人で、前年度に比べ419人（8.5%）増加しています。また、帰国子女数は468人で、平成16年度間に比べ30人（6.0%）減少しています。（統計表第10表、付表第4表）

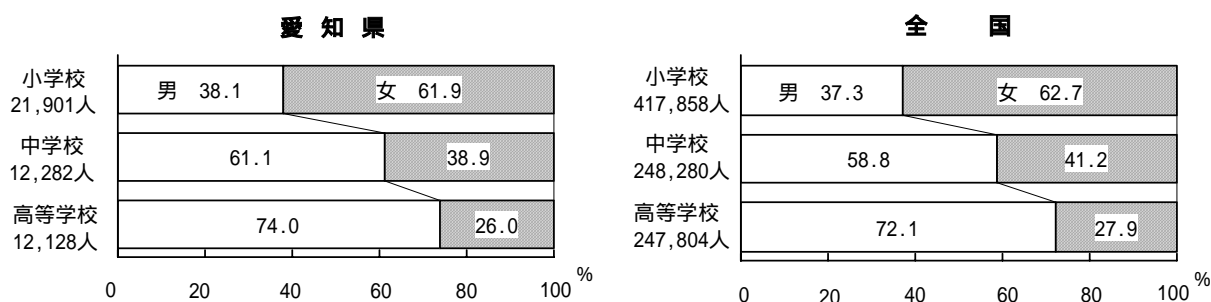
#### (4) 教員数

教員数は本務者 21,901 人、兼務者 1,449 人で、前年度に比べ本務者は 239 人( 1.1% )、兼務者は 140 人( 10.7% )それぞれ増加しています。(統計表第 1 表, 第 9 表)

本務教員は男子教員 8,341 人、女子教員 13,560 人となっています。女子教員の割合は 61.9% で、前年度に比べ 0.1 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 62.7% となっています。(図 1-2)

また、本務教員 1 人当たりの児童数は 19.9 人で、前年度に比べ 0.1 人( 0.5% )減少しています。なお、全国平均は、17.2 人となっています。(表 1-2)

図 1-2 教員男女別構成比(本務者)



#### (5) 理由別長期欠席児童数

平成 17 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席児童数は 3,355 人で、前年度間に比べ 111 人( 3.4% )増加しています。これを理由別にみると、不登校 1,537 人( 構成比 45.8% )、病気 1,217 人( 同 36.3% )、その他 599 人( 同 17.9% )の順となっています。

全児童数に占める長期欠席児童の割合は 0.78% で、前年度間に比べ 0.02 ポイント上昇しています。また、このうち「不登校」の割合は 0.36% で、0.01 ポイント上昇しています。

なお、全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 0.82%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 0.32% となっています。

(表 1-4, 統計表第 12 表)

表 1-4 理由別長期欠席児童数の推移(小学校)

区分	計	全児童数に占める割合		病気	経済的 理由	不登校	全児童数に占める割合		その他
		愛知県					全国		
		愛知県	全国				愛知県	全国	
平成13年度間	4,073	0.97	1.06	1,936	9	1,614	0.39	0.36	514
14	3,437	0.82	0.94	1,404	3	1,518	0.36	0.36	512
15	3,212	0.76	0.86	1,252	8	1,443	0.34	0.33	509
16	3,244	0.76	0.82	1,208	1	1,503	0.35	0.32	532
17	3,355	0.78	0.82	1,217	2	1,537	0.36	0.32	599

単位：人，%

## 2 中学校

### (1) 学校数

学校数は 439 校（本校 436 校、分校 3 校）で、前年度に比べ 1 校（0.2%）増加しています。

設置者別にみると、国立が 3 校（構成比 0.7%）、公立が 414 校（同 94.3%）、私立が 22 校（同 5.0%）となっています。（表 1-5, 統計表第 1 表）

類型別にみると、複式学級のある学校は 1 校（構成比 0.2%）で、前年度と同数となっています。75 条の学級のある学校（75 条の学級のみを含む）は 315 校（構成比 71.8%）で、前年度と同数となっています。（統計表第 6 表）

表 1-5 学校数及び学級数の推移（中学校）

区 分	学校数	学校数			学級数	学級数			1校当たりの学級数	
		国立	公立	私立		単式	複式	75条	愛知県	全 国
平成14年度	435	3	412	20	6,395	5,970	2	423	14.7	10.9
15	436	3	412	21	6,291	5,844	2	445	14.4	10.7
16	437	3	413	21	6,219	5,745	2	472	14.2	10.7
17	438	3	413	22	6,256	5,768	1	487	14.3	10.7
18	439	3	414	22	6,296	5,793	1	502	14.3	10.8

### (2) 学級数

学級数は 6,296 学級で、前年度に比べ 40 学級（0.6%）増加しています。

（表 1-5, 統計表第 1 表）

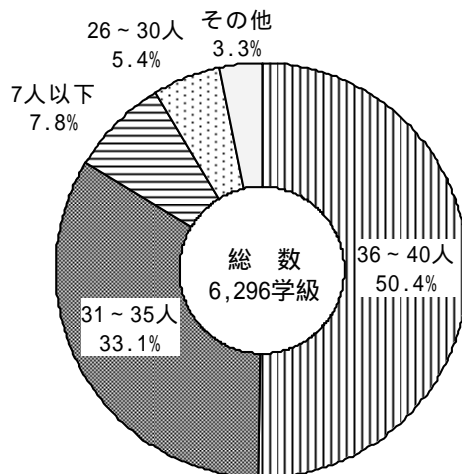
編制方式別にみると、単式学級が 5,793 学級（構成比 92.0%）、複式学級が 1 学級（同 0.0%）、75 条の学級が 502 学級（同 8.0%）となっています。

（表 1-5, 統計表第 13 表）

75 条の学級の内訳をみると、知的障害 322 学級（構成比 64.1%）、情緒障害 171 学級（同 34.1%）、病弱・身体虚弱 7 学級（同 1.4%）の順となっています。

（統計表第 15 表）

図 1-3 収容人員別学級数の割合（中学校）



収容人員別学級数についてみると、36～40人学級が3,173学級（構成比50.4%）と最も多く、次いで31～35人学級が2,084学級（同33.1%）、7人以下の学級が490学級（同7.8%）の順となっています。これを設置者別にみると、公立では36～40人学級が3,072学級（同51.2%）、私立でも36～40人学級が81学級（同30.5%）と最も多くなっています。（図1-3,統計表第8表）

1校当たりの学級数は14.3学級で、前年度と同数となっています。なお、全国平均は10.8学級となっています。（表1-5）

### (3) 生徒数

生徒数は207,525人（男子105,899人、女子101,626人）で、前年度に比べ1,090人（0.5%）増加しています。また、昭和61年度のピーク時（348,339人）に比べ40.4%減少しているものの、2年連続の増加となっています。（表1-6,統計表第1表）

表1-6 生徒数及び教員数（本務者）の推移（中学校）

区 分	生徒数	対前年度 増減率	男	女	1学級当たりの生徒数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの生徒数	
					愛知県	全 国		愛知県	全 国
平成14年度	215,327	2.3	110,306	105,021	33.7	31.7	12,549	17.2	15.2
15	209,770	2.6	107,109	102,661	33.3	31.3	12,392	16.9	14.9
16	206,345	1.6	105,143	101,202	33.2	31.0	12,229	16.9	14.7
17	206,435	0.0	105,189	101,246	33.0	30.7	12,238	16.9	14.6
18	207,525	0.5	105,899	101,626	33.0	30.4	12,282	16.9	14.5

市町村別にみると、名古屋市の197人を始め40市町村で増加し、田原市の95人を始め23市町村で減少しています。（表1-7）

表1-7 生徒数増減上位市町村（中学校）

市町村名	対前年度増加数 (40市町村)	市町村名	対前年度減少数 (23市町村)
名古屋市	197	田原市	95
春日井市	150	武豊町	54
一宮市	130	稲沢市	47
半田市	98	南知多町	45
江南市	77	豊明市	33

1学級当たりの生徒数は33.0人で、前年度と同数となっています。なお、全国平均は30.4人となっています。（表1-6）

75条の学級在籍生徒数は1,816人で、前年度に比べ99人（5.8%）増加しています。内訳をみると知的障害1,236人（構成比68.1%）、情緒障害555人（同30.6%）、病弱・身体虚弱16人（同0.9%）の順となっています。（統計表第15表）

生徒数のうち外国人数は1,821人で、前年度に比べ93人（5.4%）増加しています。また、帰国子女数は224人で、平成16年度間に比べ53人（31.0%）増加しています。（統計表第14表,付表第4表）

#### (4) 教員数

教員数は本務者 12,282 人、兼務者 1,913 人で、前年度に比べ本務者は 44 人(0.4%)、兼務者は 119 人(6.6%)それぞれ増加しています。(統計表第 1 表,第 13 表)

本務教員は男子教員 7,507 人、女子教員 4,775 人となっています。女子教員の割合は 38.9%で、前年度に比べ 0.2 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 41.2%となっています。(図 1-2)

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 16.9 人で、前年度と同数となっています。なお、全国平均は 14.5 人となっています。(表 1-6)

#### (5) 理由別長期欠席生徒数

平成 17 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席生徒数は 7,329 人で、前年度間に比べ 233 人(3.3%)増加しています。これを理由別にみると、不登校 5,970 人(構成比 81.5%)、病気 894 人(同 12.2%)、経済的理由 15 人(同 0.2%)の順となっています。

全生徒数に占める長期欠席生徒の割合は 3.55%で、前年度間に比べ 0.11 ポイント上昇しています。また、このうち「不登校」の割合は 2.89%で、0.01 ポイント上昇しています。

なお、全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 3.55%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 2.75%となっています。(表 1-8,統計表第 16 表)

表 1-8 理由別長期欠席者数の推移(中学校)

単位:人, %

区 分	計	全生徒数に占める割合		病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	全生徒数に占める割合		そ の 他
		愛知県	全 国				愛知県	全 国	
		平成13年度間	8,437				3.83	3.72	
14	7,549	3.51	3.52	971	22	6,081	2.82	2.73	475
15	7,231	3.45	3.50	874	22	5,897	2.81	2.73	438
16	7,096	3.44	3.48	783	11	5,942	2.88	2.73	360
17	7,329	3.55	3.55	894	15	5,970	2.89	2.75	450

### 3 高等学校

#### (1) 学校数

学校数は 233 校(本校 230 校、分校 3 校)で、前年度と同数となりました。設置者別にみると、国立が 2 校(構成比 0.9%)、公立が 175 校(同 75.1%)、私立が 56 校(同 24.0%)となっています。(表 1-9,統計表第 1 表,第 17 表)

課程別にみると、全日制が 199 校(構成比 85.4%)、定時制が 3 校(同 1.3%)、全・定併置が 31 校(同 13.3%)となっています。(表 1-9,統計表第 20 表)

表 1-9 学校数の推移（高等学校）

単位：校

区 分	総 数	設 置 者 別			課 程 別		
		国 立	公 立	私 立	全 日 制	定 時 制	全・定併置
平成14年度	231	2	173	56	196	3	32
15	231	2	173	56	197	3	31
16	230	2	172	56	196	3	31
17	233	2	175	56	199	3	31
18	<b>233</b>	<b>2</b>	<b>175</b>	<b>56</b>	<b>199</b>	<b>3</b>	<b>31</b>

(2) 学科数

学科数は 337 学科で、前年度に比べ 2 学科（ 0.6% ）減少しています。

学科別にみると、普通科が 205 学科（構成比 60.8%）と最も多く、次いで商業科 42 学科（同 12.5%）、工業科 35 学科（同 10.4%）の順となっています。

（図 1-4, 統計表第 21 表）

(3) 生徒数

生徒数は 190,464 人（男子 95,780 人、女子 94,684 人）で、前年度に比べ 4,988 人（ 2.6% ）減少しています。また、平成元年度のピーク時( 310,411 人 )に比べ 38.6% 減少し、17 年連続の減少となっています。（表 1-10）

表 1-10 生徒数及び教員数（本務者）の推移（高等学校）

単位：人，%

区 分	生 徒 数	対前年度 増減率	男	女	全 日 制	定 時 制	教員数 (本務者)	本務教員 1 人当たりの生徒数	
								愛知県	全 国
平成14年度	206,033	2.9	102,774	103,259	200,813	5,220	12,561	16.4	15.0
15	202,625	1.7	101,736	100,889	197,300	5,325	12,435	16.3	14.7
16	199,807	1.4	100,608	99,199	194,510	5,297	12,394	16.1	14.5
17	195,452	2.2	98,649	96,803	190,311	5,141	12,250	16.0	14.3
18	<b>190,464</b>	<b>2.6</b>	<b>95,780</b>	<b>94,684</b>	<b>185,303</b>	<b>5,161</b>	<b>12,128</b>	<b>15.7</b>	<b>14.1</b>

設置者別にみると、国立が 897 人( 構成比 0.5% )、公立が 129,440 人( 同 68.0% )、私立が 60,127 人（同 31.6%）となっています。（統計表第 1 表）

課程別にみると、全日制は 185,303 人、定時制は 5,161 人で、前年度に比べ全日制は 5,008 人（ 2.6% ）減少、定時制は 20 人（ 0.4% ）増加しています。

（表 1-10, 統計表第 18 表）

学科別にみると、普通科 141,978 人( 構成比 74.5% )、工業科 18,243 人( 同 9.6% )、商業科 15,214 人（同 8.0%）の順となっています。（図 1-4, 統計表第 19 表）

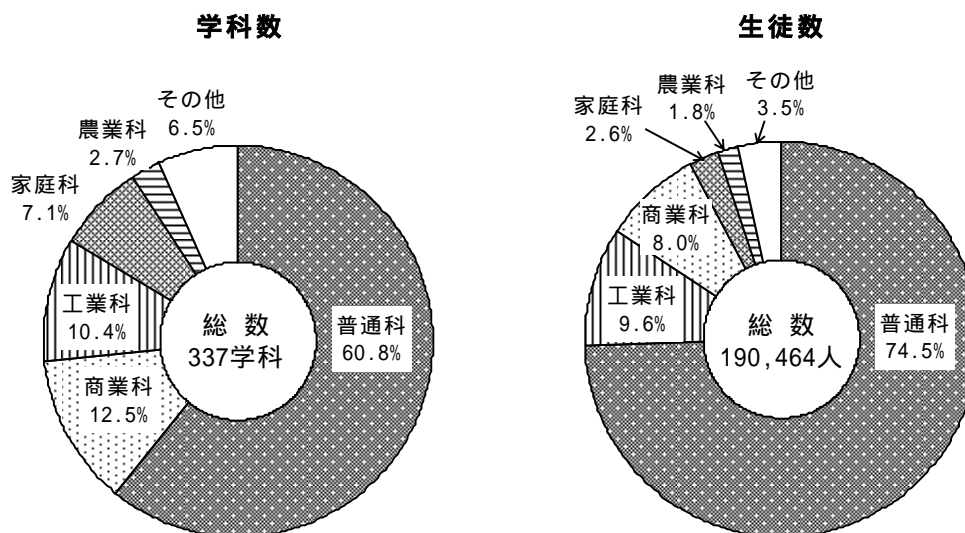
本科の入学状況をみると、入学者総数は 63,816 人( 男子 31,972 人、女子 31,844 人 )で、前年度に比べ 749 人（ 1.2% ）減少しています。

入学者を課程別にみると、全日制は 62,002 人( 男子 30,927 人、女子 31,075 人 )で、前年度に比べ 771 人（ 1.2% ）減少、定時制は 1,814 人( 男子 1,045 人、女子 769 人 )で、前年度に比べ 22 人（ 1.2% ）増加しています。入学者のうち他県所在の中学校卒

業者は 732 人で、入学者総数の 1.1%（前年度 1.2%）を占めています。また、入学者のうち過年度中学校卒業者は 655 人で入学者総数の 1.0%（前年度 1.1%）を占めています。（統計表第 22 表）

帰国子女数は 134 人で、平成 16 年度間に比べ 19 人（16.5%）増加しています。（付表第 4 表）

図 1-4 学科数及び学科別生徒数の割合（高等学校）



#### (4) 教員数

教員数は本務者 12,128 人、兼務者 4,612 人で、前年度に比べ本務者は 122 人（1.0%）減少、兼務者は 105 人（2.3%）増加しています。（統計表第 1 表, 第 17 表）

本務教員は男子教員 8,978 人、女子教員 3,150 人となっています。女子教員の割合は 26.0%で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 27.9%となっています。（図 1-2）

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 15.7 人で、前年度に比べ 0.3 人減少しています。なお、全国平均は 14.1 人となっています。（表 1-10）

### 4 通信制高等学校

#### (1) 学校数

学校数は 6 校（公立 2 校、私立 4 校）で、前年度と比べ 1 校（14.3%）減少しています。通信教育のみを行う独立校は公立 1 校で、全日制又は定時制の課程との併置校は 5 校となっています。（表 1-11, 統計表第 1 表）

#### (2) 生徒数

生徒数は 6,908 人（男子 4,504 人、女子 2,404 人）で、前年度に比べ 361 人（5.0%）減少しています。（表 1-11, 統計表第 1 表, 第 23 表）

学科別にみると、普通科 4,808 人（構成比 69.6%）、商業科 1,122 人（同 16.2%）、工業科 978 人（同 14.2%）の順となっています。（統計表第 24 表）



入学者は本年度が 2,019 人(男子 1,352 人、女子 667 人)、前年度間が 2,514 人(男子 1,713 人、女子 801 人)となっています。

また、前年度間の退学者は 596 人(男子 400 人、女子 196 人)となっています。  
(統計表第 25 表)

### (3) 教員数

教員数は本務者 84 人、兼務者 48 人で、前年度に比べ本務者は 2 人(2.3%)、兼務者は 3 人(5.9%)それぞれ減少しています。(統計表第 1 表,第 2 表)

本務教員は男子教員 68 人、女子教員 16 人で、女子教員の割合は 19.0%となっています。(表 1-11)

表 1-11 学校数、生徒数及び教員数(本務者)の推移(通信制高等学校)

区分	学校数			生徒数	対前年度 増減率	生徒数		教員数 (本務者)			本務教員 1人当たり の生徒数
	公	立	私 立			男	女	男	女	女	
平成14年度	7 (1)	2 (1)	5	8,633	3.0	5,853	2,780	99	78	21	87.2
15	7 (1)	2 (1)	5	7,976	7.6	5,397	2,579	92	74	18	86.7
16	7 (1)	2 (1)	5	7,613	4.6	5,103	2,510	85	65	20	89.6
17	7 (1)	2 (1)	5	7,269	4.5	4,813	2,456	86	68	18	84.5
18	6 (1)	2 (1)	4	6,908	5.0	4,504	2,404	84	68	16	82.2

注：( ) 書きは通信教育のみを行う独立校を再掲

## 5 大 学

### (1) 学校数

学校数は 49 校で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立が 4 校、公立が 4 校、私立が 41 校となっています。

(統計表第 1 表,第 26 表)

### (2) 学生数

学生数は 184,873 人(男子 108,523 人、女子 76,350 人)で、前年度に比べ 277 人(0.2%)増加しています。

設置者別にみると、国立が 29,505 人(構成比 16.0%)、公立が 8,470 人(同 4.6%)、私立が 146,898 人(同 79.5%)となっています。(統計表第 1 表)

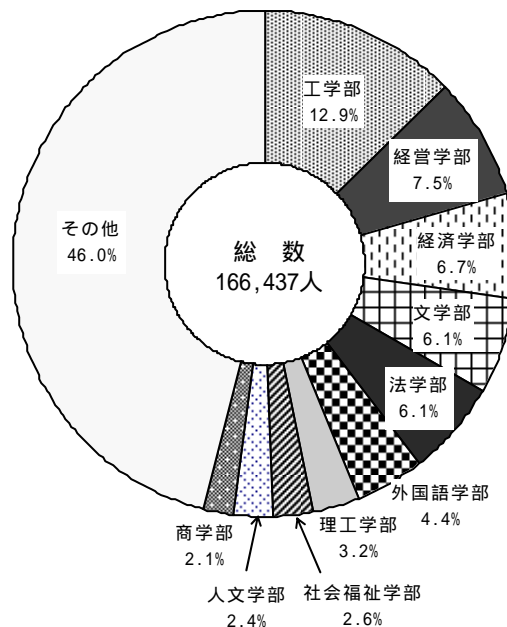
表 1-12 学生数の推移(大学)

区分	計	対前年度 増減率	男女		学 部	大学院	専攻科	別 科	聴講生・ 選科生・ 研究生等
			男	女					
平成14年度	180,355	1.9	108,529	71,826	163,798	13,012	24	366	3,155
15	182,256	1.1	108,478	73,778	165,389	13,329	12	391	3,135
16	182,624	0.2	107,892	74,732	165,093	13,982	13	357	3,179
17	184,596	1.1	108,545	76,051	166,487	14,486	15	375	3,233
18	184,873	0.2	108,523	76,350	166,437	14,982	14	397	3,043

学生数の内訳は、学部が166,437人(構成比90.0%)、大学院が14,982人(同8.1%)、専攻科が14人(同0.0%)、別科が397人(同0.2%)、聴講生・選科生・研究生等が3,043人(同1.6%)となっています。これを前年度と比べると、大学院が496人(3.4%)、別科が22人(5.9%)それぞれ増加、学部が50人(0.0%)、専攻科が1人(6.7%)、聴講生・選科生・研究生等が190人(5.9%)それぞれ減少しています。(表1-12,統計表第26表)

学部別学生数をみると、工学部が21,486人(構成比12.9%)と最も多く、次いで経営学部12,523人(同7.5%)、経済学部11,144人(同6.7%)の順となっています。また、学部学生のうち女子学生の割合は42.3%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇しています。(図1-5,統計表第27表)

図1-5 学部別学生数の割合(大学(学部))

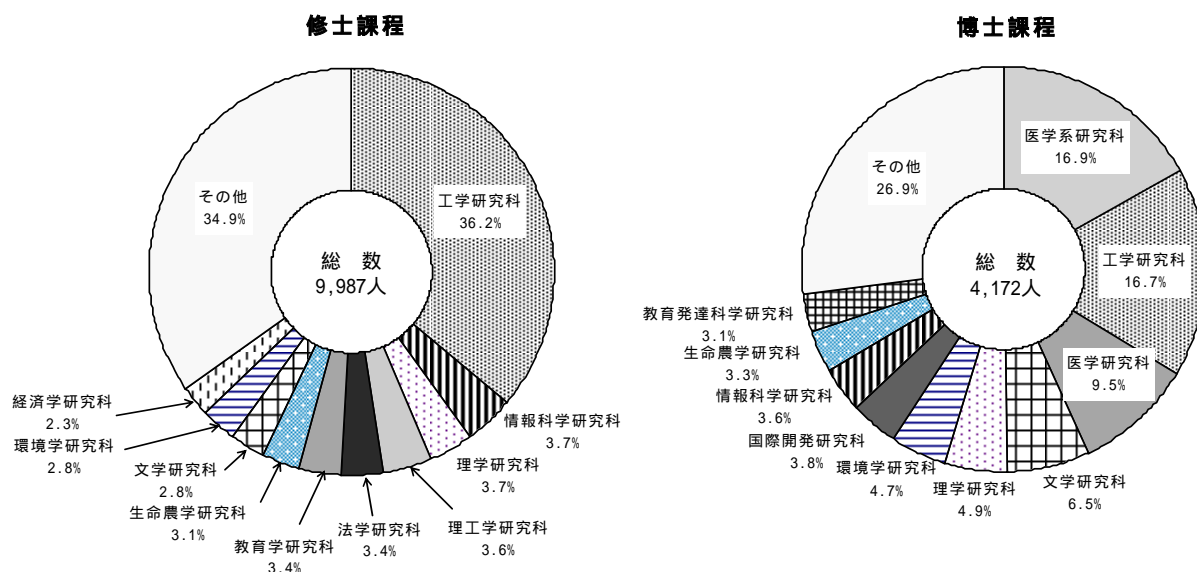


大学院学生数は、修士課程(修士課程及び博士前期課程)が9,987人、博士課程(博士後期課程及び医・歯学の博士課程)が4,172人、専門職学位課程が823人で、前年度に比べ修士課程で76人(0.8%)、博士課程で122人(3.0%)、専門職学位課程で298人(56.8%)それぞれ増加しています。(統計表第26表)

専攻別にみると、修士課程は工学研究科が3,620人(構成比36.2%)、博士課程は医学系研究科が706人(同16.9%)とそれぞれ最も多くなっています。

(図1-6,統計表第30表)

図 1-6 研究学科別学生数の割合（大学院）



学部入学状況をみると、入学志願者数は 210,348 人で、前年度に比べ 10,874 人（ 4.9%）、入学者数は 40,583 人で、前年度に比べ 472 人（ 1.1%）それぞれ減少しており、入学倍率は 5.2 倍となり、前年度に比べ 0.2 ポイント低下しています。また、学部別にみると、医学部（専門課程）（14.6 倍）、保育学部（14.0 倍）、心理学部（11.3 倍）の順で高くなっています。

（表 1-13, 図 1-7, 統計表第 28 表, 第 29 表）

表 1-13 入学志願者数及び入学者数の推移（大学(学部)）

区分	入学志願者数	入学者数	高等学校新卒者数		入学倍率
			高等学校新卒者数	構成比	
平成14年度	220,003	41,199	35,699	86.7	5.3
15	218,089	39,901	34,418	86.3	5.5
16	213,309	39,953	34,597	86.6	5.3
17	221,222	41,055	35,930	87.5	5.4
18	210,348	40,583	36,334	89.5	5.2

入学者のうち高等学校新卒者の占める割合は 89.5%で、前年度に比べ 2.0 ポイント上昇しています。また、学部別にみると、ヒューマンケア学部（99.4%）、生活科学部（98.9%）、現代マネジメント学部（98.9%）などが高くなっているのに対し、美術学部（61.0%）、国際文化学部（44.6%）、医学部（専門課程）（34.1%）などが低くなっています。（図 1-8, 統計表第 29 表）

図 1-7 入学倍率の高い学部（大学(学部)）

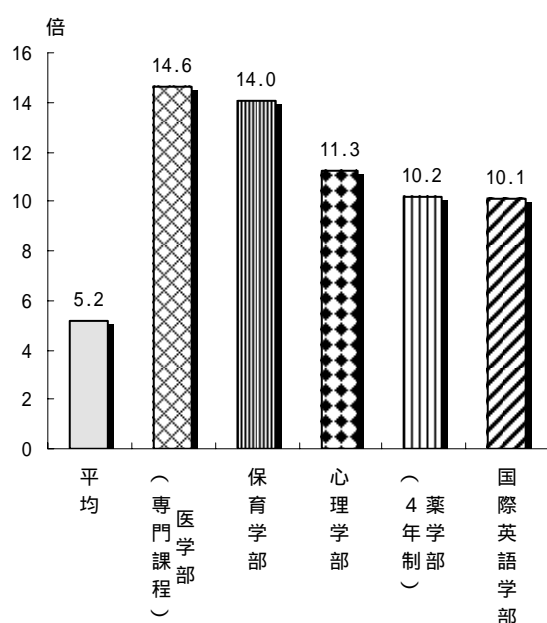
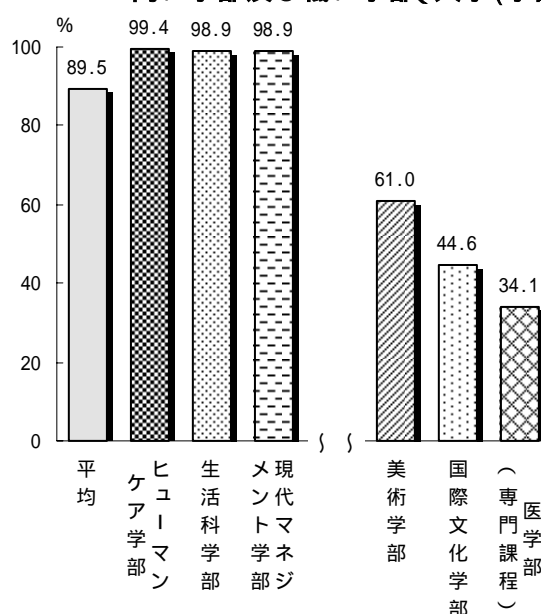


図 1-8 高等学校新卒者の占める割合の高い学部及び低い学部(大学(学部))



また、県内大学の入学者に占める県内高等学校出身者の割合は 61.1% で、前年度に比べ 0.5 ポイント上昇しています。（表 1-14、統計表第 29 表）

表 1-14 設置者別入学者数（大学(学部)）

区分	入学者数	所在地県内高等学校出身者数		男	所在地県内高等学校出身者数		女	所在地県内高等学校出身者数	
		数	構成比		数	構成比		数	構成比
計	40,583	24,778	61.1	23,124	13,666	59.1	17,459	11,112	63.6
国立	4,415	2,616	59.3	3,030	1,738	57.4	1,385	878	63.4
公立	1,682	1,030	61.2	590	361	61.2	1,092	669	61.3
私立	34,486	21,132	61.3	19,504	11,567	59.3	14,982	9,565	63.8
全国	603,054	245,861	40.8	353,755	138,975	39.3	249,299	106,886	42.9

### (3) 教員数

教員数は、本務者 9,632 人、兼務者 9,790 人で、前年度に比べ、本務者は 283 人( 3.0% ) 増加、兼務者は 1,315 人( 11.8% ) 減少しています。設置者別にみると、国立が本務者 2,738 人、兼務者 459 人、公立が本務者 835 人、兼務者 1,338 人、私立が本務者 6,059 人、兼務者 7,993 人となっています。（統計表第 1 表、第 3 表）

また、本務教員 1 人当たりの学生数は、国立が 10.8 人、公立が 10.1 人、私立が 24.2 人となっています。

## 6 短期大学

### (1) 学校数

学校数は 28 校で、前年度に比べ 4 校( 12.5% ) 減少しています。設置者別にみると、私立が 28 校となっています。（統計表第 1 表、第 31 表）

## (2) 学生数

学生数は12,964人(男子895人、女子12,069人)で、前年度に比べ583人(4.3%)減少しています。(表1-15,統計表第1表)

学生数の内訳は本科が12,797人(構成比98.7%)、専攻科が139人(同1.1%)、聴講生・選科生・研究生等が28人(同0.2%)となっています。これを前年度と比べると、本科が505人(3.8%)、専攻科が57人(29.1%)、聴講生・選科生・研究生等が21人(42.9%)それぞれ減少しています。(表1-15,統計表第31表)

表1-15 学生数の推移(短期大学)

単位：人，%

区分	計	対前年度 増減率	男	女	本科	専攻科	別科	聴講生・ 選科生・ 研究生等
平成14年度	15,963	9.8	900	15,063	15,673	216	-	74
15	15,005	6.0	1,046	13,959	14,706	200	-	99
16	14,234	5.1	1,092	13,142	13,934	222	-	78
17	13,547	4.8	983	12,564	13,302	196	-	49
18	12,964	4.3	895	12,069	12,797	139	-	28

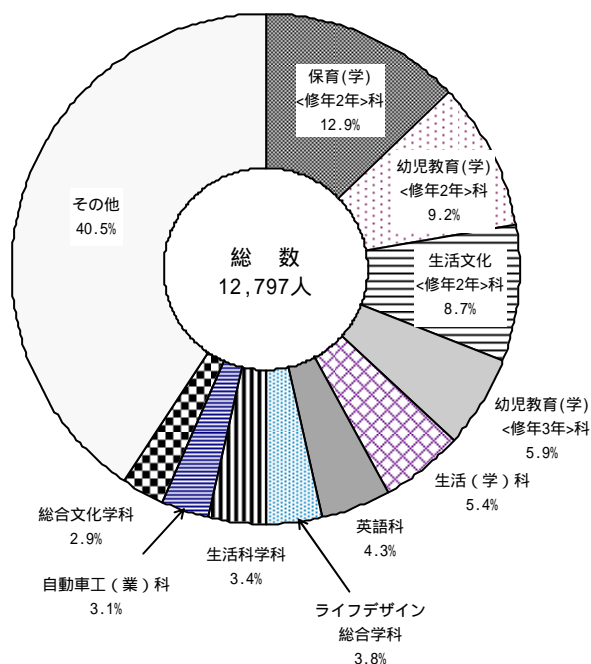
本科学生数を学科別にみると、保育(学)<修年2年>科が1,649人(構成比12.9%)と最も多く、次いで幼児教育(学)<修年2年>科が1,178人(同9.2%)、生活文化<修年2年>科が1,117人(同8.7%)の順となっています。また、本科在学者のうち女子学生の割合は92.8%で、前年度に比べ0.4ポイント上昇しています。

(図1-9,統計表第32表)

本科の入学状況をみると、入学志願者は13,759人で、前年度に比べ1,797人(11.6%)、入学者は6,076人で、前年度に比べ202人(3.2%)それぞれ減少しています。入学倍率は2.3倍となり、前年度に比べ0.2ポイント低下しています。

(統計表第33表,第34表)

図1-9 学科別学生数の割合(短期大学(本科))



また、県内短期大学入学者に占める県内高等学校出身者の割合は72.2%で、前年度に比べ1.9ポイント上昇しています。

入学者のうち高等学校新卒者の割合は96.0%で、前年度に比べ1.0ポイント上昇しています。(表1-16,統計表第34表)

表1-16 設置者別入学者数(短期大学(本科))

単位:人, %

区分	入学者数	所在地県内高等学校出身者数		男	所在地県内高等学校出身者数		女	所在地県内高等学校出身者数	
		構成比			構成比			構成比	
計	6,076	4,388	72.2	407	260	63.9	5,669	4,128	72.8
私立	6,076	4,388	72.2	407	260	63.9	5,669	4,128	72.8
全国	90,740	57,287	63.1	10,486	5,828	55.6	80,254	51,459	64.1

### (3) 教員数

教員数は、本務者660人、兼務者1,511人で、前年度に比べ、本務者は30人(4.3%)減少、兼務者は39人(2.6%)増加しています。(統計表第1表,第3表)

また、本務教員1人当たりの学生数は19.6人となっています。

## 7 盲学校・聾学校・養護学校

### (1) 学校数

学校数は盲学校が2校(公立のみ)、聾学校が5校(公立のみ)、養護学校が24校(国立1校、公立23校)で、前年度と比べ盲学校、聾学校がそれぞれ同数、養護学校が1校(4.3%)増加しています。(表1-17,統計表第1表,第36表)

表1-17 学校数、学級数及び在学者数の推移(盲学校・聾学校・養護学校)

単位:校,学級,人

区分	総数			盲学校			聾学校			養護学校		
	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数
平成14年度	29	1,119	5,312	2	51	212	5	117	503	22	951	4,597
15	29	1,147	5,426	2	53	218	5	116	525	22	978	4,683
16	30	1,194	5,585	2	56	219	5	115	524	23	1,023	4,842
17	30	1,240	5,752	2	58	216	5	125	533	23	1,057	5,003
18	31	1,257	5,866	2	58	202	5	125	543	24	1,074	5,121

### (2) 学級数

学級数は盲学校が58学級、聾学校が125学級、養護学校が1,074学級で、前年度と比べ盲学校、聾学校がそれぞれ同数、養護学校が17学級(1.6%)増加しています。

(表1-17,統計表第1表,第36表)

### (3) 在学者数

在学者数は盲学校が202人、聾学校が543人、養護学校が5,121人で、前年度に比べ盲学校が14人(6.5%)減少、聾学校が10人(1.9%)、養護学校が118人(2.4%)それぞれ増加しています。(表1-17,統計表第1表,第36表)

通学状況は、家庭からの通学者が5,264人（構成比89.7%）と最も多く、次いで児童福祉施設からが287人（同4.9%）、寄宿舍からが204人（同3.5%）の順となっています。（統計表第38表）

#### (4) 教員数

教員数は、盲学校が本務者133人、兼務者23人、聾学校が本務者285人、兼務者42人、養護学校が本務者2,420人、兼務者102人で、前年度に比べ本務者は、盲学校が1人（0.7%）減少、聾学校が12人（4.4%）、養護学校が52人（2.2%）それぞれ増加しています。（統計表第1表,第36表）

本務教員1人当たりの在学者数は、盲学校が1.5人、聾学校が1.9人、養護学校が2.1人となっています。これを前年度と比べると、盲学校、聾学校はそれぞれ0.1人減少、養護学校は同数となっています。

### 8 幼稚園

#### (1) 園数

幼稚園数は531園で、前年度と比べ2園（0.4%）減少しています。

設置者別にみると、国立が1園、公立が101園、私立が429園となっており、私立が全体の80.8%（前年度80.7%）を占めています。

私立を設置者別にみると、学校法人立が415園、宗教法人立が11園、個人立が3園となっています。（表1-18,統計表第1表,第39表,第41表）

表1-18 園数及び学級数の推移（幼稚園）

区 分	園数	園数			学級数	1園当たりの学級数	
		国立	公立	私立		愛知県	全 国
		平成14年度	530	1		104	425
15	532	1	105	426	4,003	7.5	5.2
16	532	1	104	427	4,037	7.6	5.2
17	533	1	102	430	4,033	7.6	5.3
18	531	1	101	429	4,026	7.6	5.3

単位：園，学級

#### (2) 学級数

学級数は4,026学級で、前年度に比べ7学級（0.2%）減少しています。

設置者別にみると、国立が5学級、公立が552学級、私立が3,469学級で、前年度と比べ国立が同数、公立が6学級（1.1%）、私立が1学級（0.0%）それぞれ減少となっています。（統計表第1表,第39表,第41表）

1園当たりの学級数は7.6学級で、前年度と同数となっています。（表1-18）

#### (3) 園児数

園児数は、102,598人（男子51,988人、女子50,610人）で、前年度に比べ873人（0.8%）減少しています。（表1-19,統計表第1表,第39表,第41表）

年齢別にみると、3歳児が32,359人(構成比31.5%)、4歳児が34,839人(同34.0%)、5歳児が35,400人(同34.5%)で、前年度と比べ3歳児が30人(0.1%)増加、4歳児が792人(2.2%)、5歳児が111人(0.3%)それぞれ減少しています。

(表1-19,統計表第1表,第39表,第41表)

表1-19 年齢別園児数及び教員数の推移(幼稚園)

単位:人, %

区分	園児数	対前年度 増減率	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの園児数	
									愛知県	全国
平成14年度	104,010	1.9	52,101	51,909	33,066	35,541	35,403	5,394	19.3	16.4
15	104,283	0.3	52,533	51,750	32,534	36,351	35,398	5,478	19.0	16.2
16	104,562	0.3	52,619	51,943	32,824	35,638	36,100	5,538	18.9	16.0
17	103,471	1.0	52,237	51,234	32,329	35,631	35,511	5,571	18.6	15.8
18	102,598	0.8	51,988	50,610	32,359	34,839	35,400	5,609	18.3	15.6

1園当たりの園児数は193.2人で、前年度に比べ0.9人減少し、1学級当たりの園児数は25.5人で、前年度と比べ0.2人減少となっています。

設置者別にみると、国・公立が13,120人(構成比12.8%)、私立が89,478人(同87.2%)となっています。(統計表第1表,第39表,第41表)

#### (4) 教員数

教員数は本務者5,609人、兼務者704人で、前年度に比べ本務者は38人(0.7%)、兼務者は34人(5.1%)それぞれ増加しています。教育補助員は本務者24人、兼務者82人で、前年度に比べ本務者は6人(33.3%)増加、兼務者は9人(9.9%)減少しています。本務教員(本務の教育補助員を除く)1人当たりの園児数は18.3人で、前年度に比べ0.3人減少しています。(表1-19,統計表第1表,第2表,第39表,第41表)

## 9 専修学校

### (1) 学校数

学校数は192校で、前年度に比べ1校(0.5%)減少しています。

設置者別にみると、公立が16校、私立が176校となっています。

(表1-20,統計表第1表,第42表)

表1-20 設置者別学校数及び課程別生徒数の推移(専修学校)

単位:校,人, %

区分	学校数	設置者別			生徒数	対前年度 増減率	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
		国立	公立	私立							
平成14年度	207	4	21	182	52,570	0.3	25,659	26,911	8,218	44,243	109
15	200	4	19	177	55,079	4.8	26,934	28,145	7,762	47,196	121
16	196	0	18	178	55,097	0.0	27,348	27,749	7,524	47,443	130
17	193	-	16	177	52,833	4.1	26,227	26,606	7,242	45,484	107
18	192	-	16	176	51,187	3.1	25,207	25,980	6,712	43,476	999



## (2) 学科数

学科数は583学科で、前年度と比べ25学科(4.1%)減少しています。

学科分野別にみると、工業関係123学科(構成比21.1%)、医療関係109学科(同18.7%)、文化・教養関係107学科(同18.4%)の順となっています。

(図1-10,統計表第43表)

## (3) 生徒数

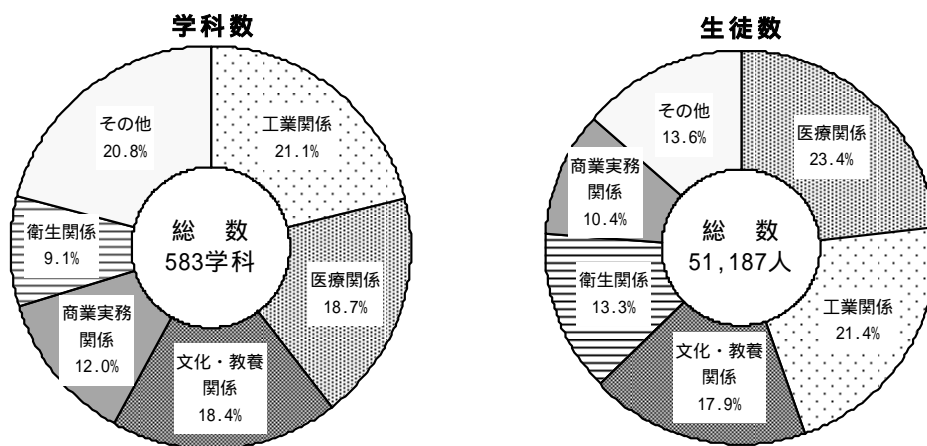
生徒数は51,187人(男子25,207人、女子25,980人)で、前年度に比べ1,646人(3.1%)減少しています。(統計表第1表,第42表,第44表)

課程別にみると、高等課程が6,712人(構成比13.1%)、専門課程が43,476人(同84.9%)、一般課程が999人(同2.0%)で、前年度に比べ高等課程が530人(7.3%)、専門課程が2,008人(4.4%)それぞれ減少、一般課程が892人(8.3倍)増加しています。

(表1-20,統計表第44表)

学科分野別にみると、最も多いのは医療関係学科11,964人(構成比23.4%)で、次いで工業関係学科10,973人(同21.4%)、文化・教養関係学科9,158人(同17.9%)の順となっています。(図1-10,統計表第44表)

図1-10 分野別学科数及び生徒数の割合(専修学校)



## (4) 教員数

教員数は、本務者2,716人、兼務者6,026人で、前年度に比べ本務者は43人(1.6%)、兼務者は14人(0.2%)それぞれ増加しています。(統計表第1表,第42表)

## 10 各種学校

### (1) 学校数

学校数は123校で、前年度に比べ7校(5.4%)減少しています。

(表1-21,統計表第1表,第45表)

なお、設置者はすべて私立となっています。

表 1-21 学校数及び生徒数の推移（各種学校）

単位：校,人,%

区分	学校数	生徒数	対前年度増減率	男	女
平成14年度	151	23,994	0.5	13,870	10,124
15	138	22,785	5.0	13,312	9,473
16	133	21,123	7.3	12,206	8,917
17	130	19,072	9.7	10,865	8,207
18	123	14,375	24.6	8,072	6,303

(2) 課程数

課程数は 134 課程で、前年度に比べ 23 課程（ 14.6% ）減少しています。

課程別にみると、商業実務関係のうちその他（珠算など）53 課程（構成比 39.6%）、外国人学校 19 課程（同 14.2%）、和洋裁 15 課程（同 11.2%）の順となっています。

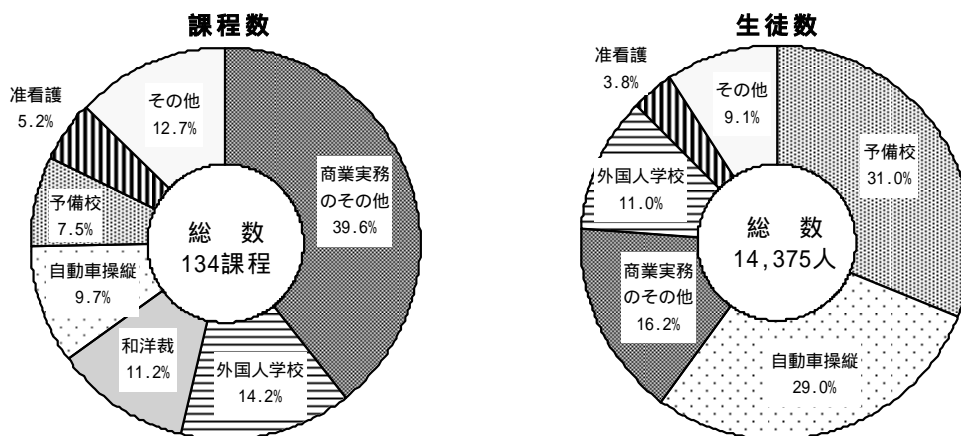
（図 1-11, 統計表第 46 表）

(3) 生徒数

生徒数は 14,375 人（男子 8,072 人、女子 6,303 人）で、前年度に比べ 4,697 人（ 24.6% ）減少しています。（表 1-21, 統計表第 1 表, 第 45 表, 第 46 表）

課程別にみると、最も多いのは予備校課程 4,456 人（構成比 31.0%）で、次いで自動車操縦課程 4,165 人（同 29.0%）、商業実務関係のうちその他（珠算など）の課程 2,327 人（同 16.2%）の順となっています。（図 1-11, 統計表第 46 表）

図 1-11 課程別課程数及び生徒数の割合（各種学校）



(4) 教員数

教員数は本務者 788 人、兼務者 624 人で、前年度に比べ本務者は 58 人（ 6.9% ）減少、兼務者は 32 人（ 5.4% ）増加しています。（統計表第 1 表, 第 45 表）

# 卒業後の状況調査

## 1 中学校

### (1) 卒業生数

卒業生数は 68,460 人（男子 34,827 人、女子 33,633 人）で、前年に比べ 794 人（1.1%）減少して 7 年連続の減少となっています。

進路別にみると、高等学校等進学者 66,301 人（構成比 96.8%）、就職者 811 人（同 1.2%）、専修学校（高等課程）進学者 120 人（同 0.2%）、専修学校（一般課程）等入学者 86 人（同 0.1%）、公共職業能力開発施設等入学者 59 人（同 0.1%）、前記以外の者等 1,083 人（同 1.6%）となっています。

なお、高等学校等進学者、専修学校（高等課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 79 人（卒業生の 0.1%）を含む就職者総数は 890 人となっています。（表 2-1、統計表第 47 表）

表 2-1 進路別卒業生数（中学校）

区 分		平成 18 年 3 月			平成 17 年 3 月		
		数	構成比	対前年増減率	数	構成比	対前年増減率
総 数 (A+B+C+D+E+F+G)		68,460	100.0	1.1	69,254	100.0	3.9
A 高等学校等進学者		66,301	96.8	1.0	66,953	96.7	3.9
高等学校	本科	65,612	95.8	1.0	66,289	95.7	4.0
	全日制	61,963	90.5	1.1	62,629	90.4	4.1
	定時制	1,248	1.8	8.6	1,149	1.7	6.4
	通信制	2,401	3.5	4.4	2,511	3.6	1.4
中等教育 学校 後期課程	本科	-	-	-	-	-	-
	全日制	-	-	-	-	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-
別 科		-	-	-	-	-	-
高等専門学校		234	0.3	1.7	230	0.3	0.4
盲・聾・養護学校 高等部本科		455	0.7	4.8	434	0.6	1.4
高等部別科		-	-	-	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者		120	0.2	35.1	185	0.3	3.1
C 専修学校（一般課程）等入学者		86	0.1	7.5	93	0.1	4.1
専修学校（一般課程）		28	0.0	6.7	30	0.0	15.4
各種学校		58	0.1	7.9	63	0.1	11.3
D 公共職業能力開発施設等入学者		59	0.1	24.4	78	0.1	11.4
E 就職者		811	1.2	4.7	851	1.2	0.1
F 前記以外の者、G 死亡・不詳の者		1,083	1.6	1.0	1,094	1.6	7.5
再	Aのうち通信制課程を除く進学者	63,900	93.3	0.8	64,442	93.1	4.1
	Aのうち就職している者	79	0.1	27.4	62	0.1	82.4
	Bのうち就職している者	-	-	-	2	-	-
	Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-
掲	Dのうち就職している者	-	-	-	1	-	-
高等学校等入学志願者		64,312			64,982		
高等学校等進学率		96.8			96.7		
男		96.4			96.2		
女		97.3			97.2		
通信制課程を除く 高等学校等進学率		93.3			93.1		
男		92.5			92.1		
女		94.2			94		
就職率		1.3			1.3		
男		1.9			1.9		
女		0.7			0.7		

注：高等学校等入学志願者には、通信制高等学校入学志願者を含みません。

## (2) 進路状況

### ア 高等学校等進学者数

高等学校等進学者数は 66,301 人（男子 33,588 人、女子 32,713 人）で、前年に比べ 652 人（ 1.0% ）減少しています。

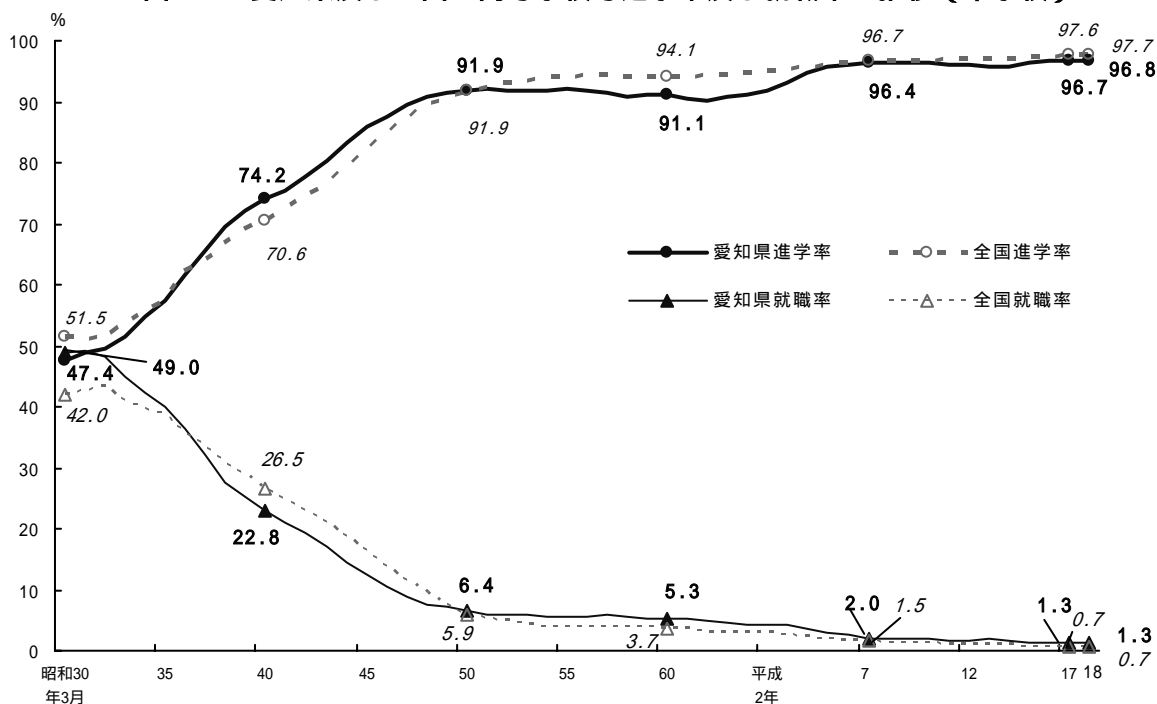
進学先をみると、高等学校全日制 61,963 人（高等学校等進学者数の 93.5% ）、同通信制 2,401 人（同 3.6% ）、同定時制 1,248 人（同 1.9% ）、盲・聾・養護学校高等部本科 455 人（同 0.7% ）、高等専門学校 234 人（0.4% ）の順となっています。

高等学校等進学率は 96.8% で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇し、過去最高となりました。男女別にみると、男子が 96.4%、女子が 97.3% で、前年に比べ男子が 0.2 ポイント、女子が 0.1 ポイントそれぞれ上昇しています。

なお、全国平均は 97.7%（男子 97.4%、女子 98.0%）となっています。

（表 2-1, 図 2-1, 統計表第 47 表）

図 2-1 愛知県及び全国の高等学校等進学率及び就職率の推移（中学校）



### イ 専修学校（高等課程）進学者数

専修学校（高等課程）進学者数は 120 人（男子 49 人、女子 71 人）で、前年に比べ 65 人（ 35.1% ）減少しており、卒業生数の 0.2%（男子 0.1%、女子 0.2%）を占めています。（表 2-1, 表 2-2, 統計表第 47 表）

### ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 86 人（男子 37、女子 49 人）で、前年に比べ 7 人（ 7.5% ）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程）が 28 人、各種学校が 58 人で、前年に比べ専修学校（一般課程）が 2 人（ 6.7% ）、各種学校が 5 人（ 7.9% ）それぞれ減少しています。

卒業者数に占める割合は0.1%(男子0.1%、女子0.1%)で、このうち専修学校(一般課程)が0.0%、各種学校が0.1%となっています。

(表2-1,表2-2,統計表第47表)

## エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は59人(男子55人、女子4人)で、前年に比べ19人(24.4%)減少しており、卒業者数の0.1%(男子0.2%、女子0.0%)を占めています。(表2-1,表2-2,統計表第47表)

表2-2 専修学校(高等課程)進学者数等の推移(中学校)

単位：人

区 分	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)等	専修学校 (一般課程)		各種学校	公共職業能力 開発施設等
			専修学校 (一般課程)	各種学校		
平成14年3月	347	176	57	119	86	
15	195	123	50	73	91	
16	191	97	26	71	70	
17	185	93	30	63	78	
18	120	86	28	58	59	

## オ 就職者総数

就職者総数は890人(男子670人、女子220人)で、前年に比べ26人(2.8%)減少しています。

就職率は1.3%で、前年と同率となり、男女別にみると、男子が1.9%、女子が0.7%で、それぞれ前年と同率となっています。

なお、全国平均は0.7%となっています。(表2-1,図2-1,統計表第47表)

就職先を産業別にみると、第1次産業が8人(構成比0.9%)、第2次産業が518人(同58.2%)、第3次産業が337人(同37.9%)となっており、構成比を前年と比べると、第1次産業は0.3ポイント低下、第2次産業は1.1ポイント上昇、第3次産業は0.3ポイント低下しています。

就職先を県内・県外別にみると、県内が872人(構成比98.0%)、県外が18人(同2.0%)となっています。県内就職率98.0%(全国第2位)は、前年と比べ1.2ポイント上昇しています。(表2-3,統計表第48表)

表2-3 産業別・県内県外別就職者数(中学校)

単位：人，%

区 分	平成18年3月					平成17年3月				
	総数	構成比	対前年 増減率	男	女	総数	構成比	対前年 増減率	男	女
総 数	890	100.0	2.8	670	220	916	100.0	3.6	683	233
第1次産業	8	0.9	27.3	7	1	11	1.2	56.0	11	-
第2次産業	518	58.2	1.0	465	53	523	57.1	6.6	463	60
第3次産業	337	37.9	3.7	177	160	350	38.2	23.2	190	160
前記以外のもの	27	3.0	15.6	21	6	32	3.5	113.3	19	13
県 内	872	98.0	1.7	655	217	887	96.8	2.3	656	231
県 外	18	2.0	37.9	15	3	29	3.2	70.6	27	2

## 2 高等学校

### (1) 卒業生数

卒業生数は 63,715 人（男子 32,237 人、女子 31,478 人）で、前年に比べ 305 人（ 0.5% ）減少となっています。

進路別にみると、大学等進学者 35,463 人（構成比 55.7%）、就職者 11,850 人（同 18.6%）、専修学校（専門課程）進学者 9,165 人（同 14.4%）、専修学校（一般課程）等入学者 3,783 人（同 5.9%）、一時的な仕事に就いた者 728 人（同 1.1%）、公共職業能力開発施設等入学者 108 人（同 0.2%）、前記以外の者等 2,618 人（同 4.1%）となっています。

なお、大学等進学者のうち就職している者 1 人（卒業生数の 0.0%）、専修学校（専門課程）進学者のうち就職している者 7 人（同 0.0%）、専修学校（一般課程）等入学者のうち就職している者 1 人（同 0.0%）を含む就職者総数は、11,859 人となっています。（表 2-4、統計表第 49 表）

表 2-4 進路別卒業生数（高等学校）

単位：人，%

区 分	平成 18 年 3 月			平成 17 年 3 月		
	数	構成比	対前年増減率	数	構成比	対前年増減率
総 数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	63,715	100.0	0.5	64,020	100.0	2.0
A 大学等進学者	35,463	55.7	2.3	34,659	54.1	2.2
大学（学部）	30,571	48.0	3.0	29,669	46.3	3.4
短期大学（本科）	4,757	7.5	2.3	4,869	7.6	4.7
大学・短期大学の 通信教育部及び放送大学	33	0.1	94.1	17	0.0	21.4
その他	102	0.2	1.9	104	0.2	5.1
B 専修学校（専門課程）進学者	9,165	14.4	7.1	9,866	15.4	8.4
C 専修学校（一般課程）等入学者	3,783	5.9	12.4	4,319	6.7	15.2
専修学校（一般課程・高等課程）	199	0.3	26.6	271	0.4	36.9
各 種 学 校	3,584	5.6	11.5	4,048	6.3	17.3
D 公共職業能力開発施設等入学者	108	0.2	18.2	132	0.2	8.3
E 就 職 者	11,850	18.6	4.4	11,354	17.7	2.9
F 一時的な仕事に就いた者	728	1.1	15.5	862	1.3	22.8
G 前記以外の者、H 死亡・不詳の者	2,618	4.1	7.4	2,828	4.4	13.5
再掲 Aのうち就職している者	1	0.0	80.0	5	0.0	16.7
Bのうち就職している者	7	0.0	61.1	18	0.0	28.6
Cのうち就職している者	1	0.0	92.3	13	0.0	225.0
Dのうち就職している者	-	0.0	0.0	0	0.0	0.0
大学等入学志願者	39,963			39,790		
大学等進学率	55.7			54.1		
男	55.1			53.6		
女	56.2			54.7		
通信教育部を除く 大学等進学率	55.6			54.1		
男	55.0			53.6		
女	56.2			54.6		
就 職 率	18.6			17.8		
男	20.6			19.6		
女	16.6			16.0		

注：大学等入学志願者とは、大学（学部）及び短期大学（本科）の入学志願者の合計です。

## (2) 進路状況

### ア 大学等進学者数

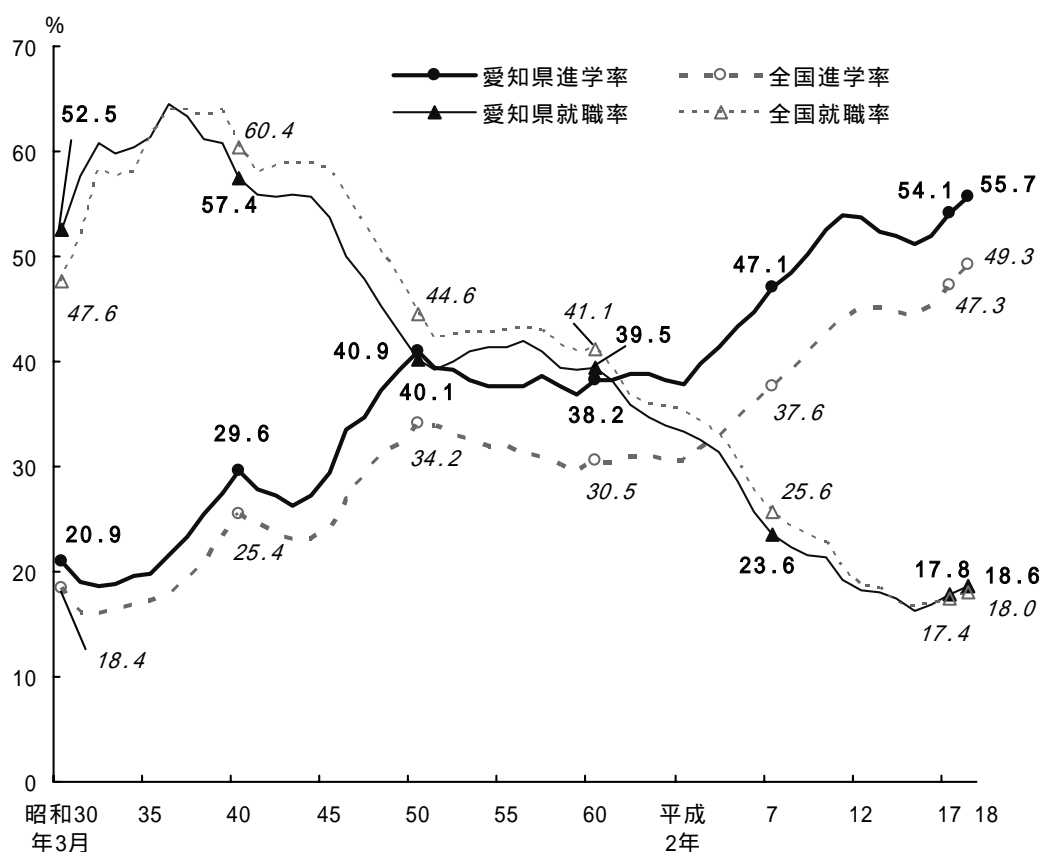
大学等進学者数は 35,463 人（男子 17,757 人、女子 17,706 人）で、前年に比べ 804 人（2.3%）増加しています。

進学先をみると、大学（学部）30,571 人（大学等進学者数の 86.2%）、短期大学（本科）4,757 人（同 13.4%）の順となっています。

大学等進学率は 55.7%（全国第 6 位）で、前年に比べ 1.6 ポイント上昇となり、過去最高となりました。男女別にみると、男子が 55.1%、女子が 56.2% で、前年に比べ男子、女子それぞれ 1.5 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 49.3%（男子 48.1%、女子 50.6%）となっています。

（表 2-4, 図 2-2, 統計表第 50 表）

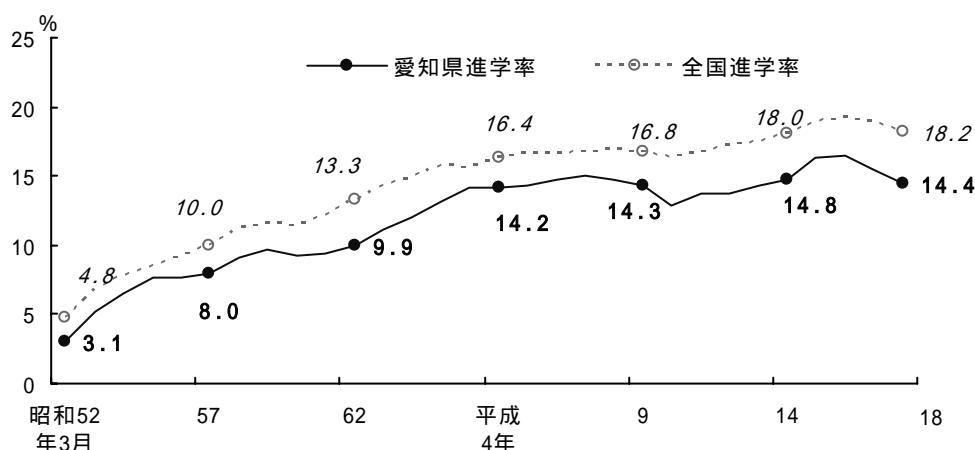
図 2-2 愛知県及び全国の大学等進学率及び就職率の推移（高等学校）



### イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は、9,165 人（男子 3,622 人、女子 5,543 人）で、前年に比べ 701 人（7.1%）減少しており、卒業生数の 14.4%（男子 11.2%、女子 17.6%）を占めています。（表 2-4, 表 2-5, 図 2-3, 統計表第 50 表）

図 2-3 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



### ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は、3,783人（男子2,611人、女子1,172人）で、前年に比べ536人（12.4%）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程・高等課程）199人、各種学校3,584人となっています。

これを前年と比べると、専修学校（一般課程・高等課程）が72人（26.6%）、各種学校が464人（11.5%）それぞれ減少しています。

卒業者数に占める割合は5.9%（男子8.1%、女子3.7%）で、このうち専修学校（一般課程・高等課程）等が0.3%、各種学校が5.6%となっています。

（表2-4、表2-5、統計表第50表）

### エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は、108人（男子97人、女子11人）で、前年に比べ24人（18.2%）減少しており、卒業者数の0.2%（男子0.3%、女子0.0%）を占めています。（表2-4、表2-5、統計表第50表）

表 2-5 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

区 分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	単位：人		
			専修学校 （一般課程・高等課程）	各種学校	公共職業能力 開発施設等
平成14年3月	10,210	5,920	205	5,715	126
15	11,036	5,714	221	5,493	142
16	10,768	5,094	198	4,896	144
17	9,866	4,319	271	4,048	132
18	9,165	3,783	199	3,584	108

### オ 就職者総数

就職者総数は、11,859人（男子6,647人、女子5,212人）で、前年に比べ469人（4.1%）増加しています。

就職率は18.6%で、前年に比べ0.8ポイント上昇し、男女別にみると、男子が20.6%、女子が16.6%で、前年に比べ男子が1.0ポイント、女子が0.6ポイントそれぞれ上昇しています。



なお、全国平均は 18.0% となっています。(表 2-4, 統計表第 50 表)

就職先を産業別にみると、製造業 7,161 人(構成比 60.4%)、卸売・小売業 1,289 人(同 10.9%)、サービス業 756 人(同 6.4%)の順となっています。

(図 2-4, 統計表第 51 表)

職業別にみると、生産工程・労務作業者 7,197 人(構成比 60.7%)、事務従事者 1,794 人(同 15.1%)、サービス職業従事者 1,087 人(同 9.2%)の順となっています。これを男女別にみると、男子は生産工程・労務作業者が 5,394 人(同 81.1%)で就職者の 8 割以上を占めています。女子は生産工程・労務作業者が 1,803 人(同 34.6%)、事務従事者が 1,695 人(同 32.5%)の順となり、この 2 業種で就職者の 7 割弱を占めています。(表 2-6, 統計表第 52 表)

なお、就職先を県内県外別にみると、県内が 11,583 人(構成比 97.7%)、県外が 276 人(同 2.3%)となっています。県内就職率 97.7%(全国第 1 位)は、前年に比べ 0.1 ポイント上昇しています。(表 2-6)

図 2-4 産業別就職者数の割合(高等学校)

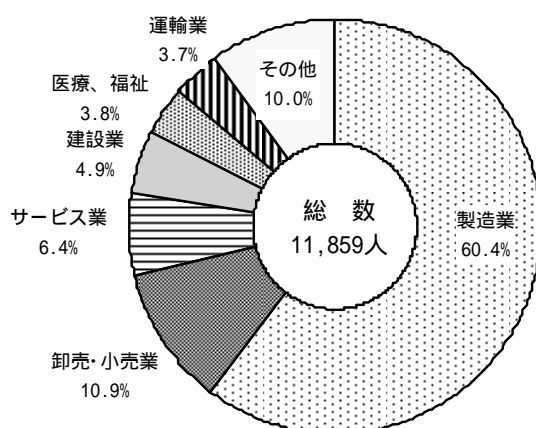


表 2-6 職業別・県内県外別就職者数(高等学校)

区 分	平成 18 年 3 月					平成 17 年 3 月				
	総 数	構成比	対前年 増減率	男	女	総 数	構成比	対前年 増減率	男	女
総 数	11,859	100.0	4.1	6,647	5,212	11,390	100.0	3.0	6,268	5,122
専門的・技術的職業従事者	380	3.2	20.8	216	164	480	4.2	34.8	288	192
事 務 従 事 者	1,794	15.1	15.4	99	1,695	1,555	13.7	6.6	116	1,439
販 売 従 事 者	861	7.3	6.5	219	642	921	8.1	12.0	263	658
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	1,087	9.2	11.3	306	781	1,226	10.8	15.2	311	915
生産工程・労務作業者	7,197	60.7	8.3	5,394	1,803	6,644	58.3	7.0	4,865	1,779
そ の 他	540	4.6	4.3	413	127	564	5.0	3.1	425	139
県 内	11,583	97.7	4.2	6,456	5,127	11,115	97.6	3.2	6,094	5,021
県 外	276	2.3	0.4	191	85	275	2.4	5.2	174	101

### カ 一時的な仕事に就いた者

一時的な仕事に就いた者は 728 人で、前年に比べ 134 人( 15.5%)の減少となり、卒業者に占める割合は 1.1%となっています。(表 2-4, 統計表第 50 表)

### 3 通信制高等学校

#### (1) 卒業者数

卒業者数は、1,770人（男子1,270人、女子500人）で、平成16年度間に比べ137人（7.2%）減少しています。進路別にみると、専修学校（専門課程）進学者621人（構成比35.1%）、就職者617人（同34.9%）、大学等進学者139人（同7.9%）、専修学校（一般課程）等入学者10人（同0.6%）、前記以外の者383人（同21.6%）となっています。（表2-7,統計表第53表）

#### (2) 進路状況

##### ア 大学等進学者数

大学等進学者数は139人（男子94人、女子45人）となっています。

進学先をみると、大学（学部）が89人、短期大学（本科）が37人、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学が13人となっています。（表2-7,統計表第53表）

##### イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は621人（男子501人、女子120人）となっています。

（表2-7,統計表第53表）

##### ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は10人（男子5人、女子5人）で、入学先は専修学校（一般課程・高等課程）6人、各種学校4人となっています。（表2-7,統計表第53表）

##### エ 就職者総数

就職者総数は623人（男子512人、女子111人）となっています。

（表2-7,統計表第55表）

就職先を産業別にみると製造業337人（構成比54.1%）、飲食店、宿泊業66人（同10.6%）、卸売・小売業51人（同8.2%）の順となっています。（統計表第54表）

就職先を職業別にみると、生産工程・労務作業者が380人（構成比61.0%）、サービス職業従事者が108人（同17.3%）、販売従事者が60人（同9.6%）の順となっています。

（統計表第55表）

表2-7 進路別卒業者数（通信制高等学校）

区 分	平成17年度間		平成16年度間	
	人数	構成比	人数	構成比
総 数	1,770	100.0	1,907	100.0
A 大 学 等 進 学 者	139	7.9	149	7.8
大 学 ( 学 部 )	89	5.0	88	4.6
短 期 大 学 ( 本 科 )	37	2.1	49	2.6
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学のその他	13	0.7	11	0.6
そ の 他	-	-	1	0.1
B 専 修 学 校 ( 専 門 課 程 ) 進 学 者	621	35.1	652	34.2
C 専 修 学 校 ( 一 般 課 程 ) 等 入 学 者	10	0.6	10	0.5
専 修 学 校 ( 一 般 課 程 ・ 高 等 課 程 )	6	0.3	2	0.1
各 種 学 校	4	0.2	8	0.4
D 公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者	-	-	1	0.1
E 就 職 者	617	34.9	660	34.6
F 前 記 以 外 の 者、 G 死 亡 ・ 不 詳 の 者	383	21.6	435	22.8
再 掲 A の うち 就 職 し て い る 者	4	0.2	6	0.3
B の うち 就 職 し て い る 者	2	0.1	7	0.4
C の うち 就 職 し て い る 者	-	-	-	-
D の うち 就 職 し て い る 者	-	-	-	-

単位：人、%

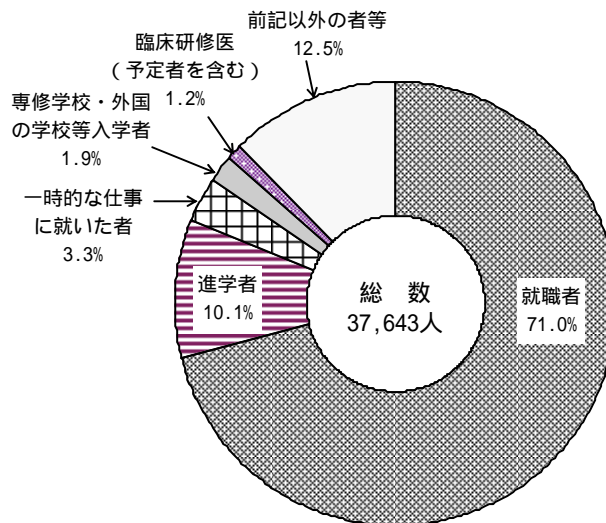
## 4 大 学（学部）

### (1) 卒業生数

卒業生数は、37,643人（男子20,920人、女子16,723人）で、前年に比べ1,523人（4.2%）増加しています。

進路別にみると、就職者が26,743人（構成比71.0%）、進学者が3,790人（同10.1%）、一時的な仕事に就いた者が1,233人（同3.3%）、専修学校・外国の学校等入学者が723人（同1.9%）、臨床研修医（予定者を含む）が453人（同1.2%）、前記以外の者等が4,701人（同12.5%）となっています。（図2-5、統計表第56表）

図2-5 進路別卒業生数の割合（大学(学部)）



### (2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は、26,743人（男子14,357人、女子12,386人）で、前年に比べ男子が1,392人（10.7%）、女子が945人（8.3%）それぞれ増加しています。

就職率は71.0%で、前年に比べ3.4ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が68.6%、女子が74.1%で、前年に比べ男子が3.8ポイント、女子が3.2ポイントそれぞれ上昇しています。（表2-8）

就職先を産業別にみると、卸売・小売業5,452人（構成比20.4%）、製造業5,292人（同19.8%）、サービス業3,829人（同14.3%）の順となっています。

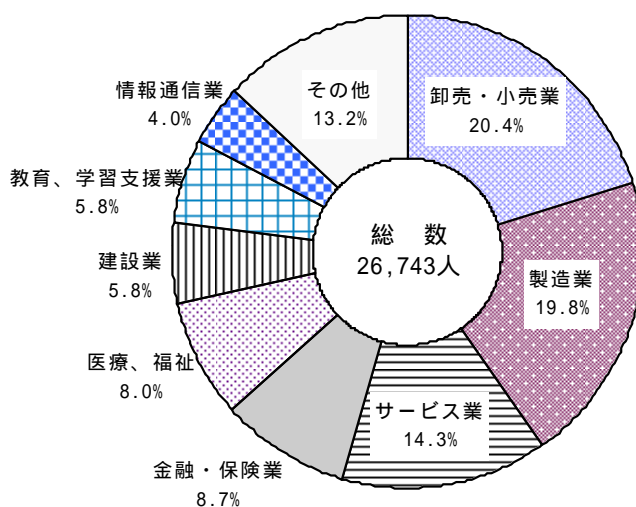
（図2-6、統計表第57表）

表2-8 就職率の推移（大学(学部)）

単位：%、ポイント

区 分	総 数		男		女	
	対前年増減		対前年増減		対前年増減	
平成14年3月	62.7	1.5	59.7	1.1	66.9	1.8
15	61.2	1.5	58.0	1.7	65.7	1.2
16	62.4	1.2	59.7	1.7	66.1	0.4
17	67.6	5.2	64.8	5.1	70.9	4.8
18	71.0	3.4	68.6	3.8	74.1	3.2

図 2-6 産業別就職者数の割合（大学(学部)）



## 5 大学院

### (1) 修了者数

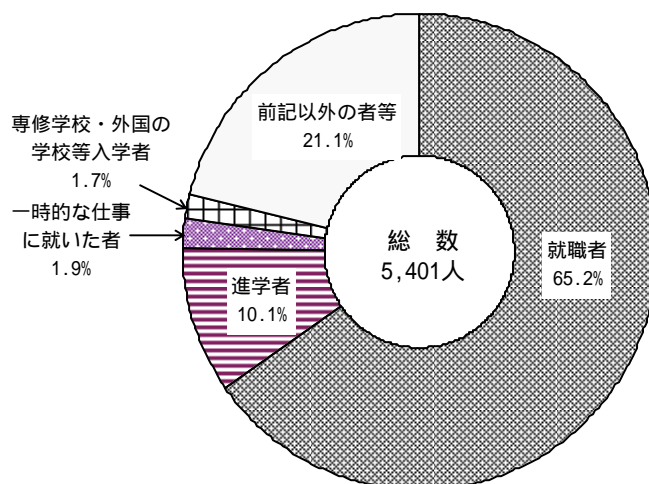
修了者数は、5,401人(男子3,931人、女子1,470人)で、前年に比べ284人(5.6%)増加しています。

課程別にみると、修士課程(修士課程及び博士前期課程)が4,451人、博士課程(博士後期課程及び医・歯学の博士課程)が887人、専門職学位課程が63人となっています。これを前年と比べると、修士課程が168人(3.9%)、博士課程が53人(6.4%)それぞれ増加しています。

進路別にみると、就職者3,523人(構成比65.2%)、進学者545人(同10.1%)、一時的な仕事に就いた者100人(同1.9%)、専修学校・外国の学校等入学者91人(同1.7%)、前記以外の者等1,142人(同21.1%)、の順となっています。

(図 2-7, 統計表第 59 表)

図 2-7 進路別修了者数の割合（大学院）



## (2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は3,531人（男子2,788人、女子743人）で、前年に比べ男子が180人（6.9%）、女子が59人（8.6%）それぞれ増加しています。

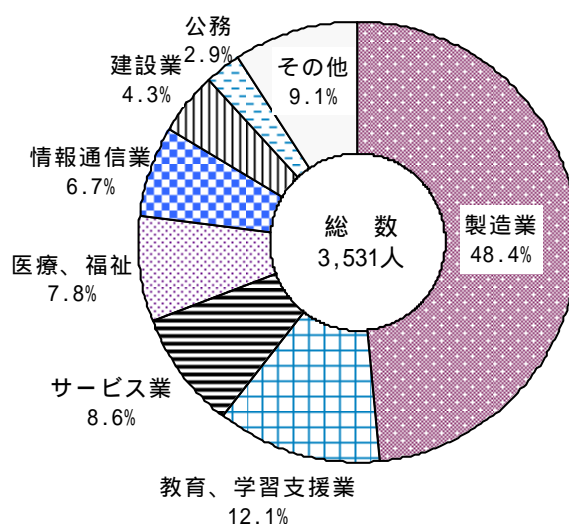
就職率は65.4%で、前年に比べ1.1ポイント上昇しています。

課程別にみると、修士課程が68.6%、博士課程が53.8%となっています。これを前年と比べると、修士課程が1.8ポイント、博士課程が1.9ポイントそれぞれ上昇しています。なお、専門職学位課程は就職者がありませんでした。

就職先を産業別にみると、製造業1,709人（構成比48.4%）、教育、学習支援業429人（同12.1%）、サービス業303人（同8.6%）の順となっています。

（図2-8,統計表第60表）

図2-8 産業別就職者数の割合（大学院）



## 6 短期大学（本科）

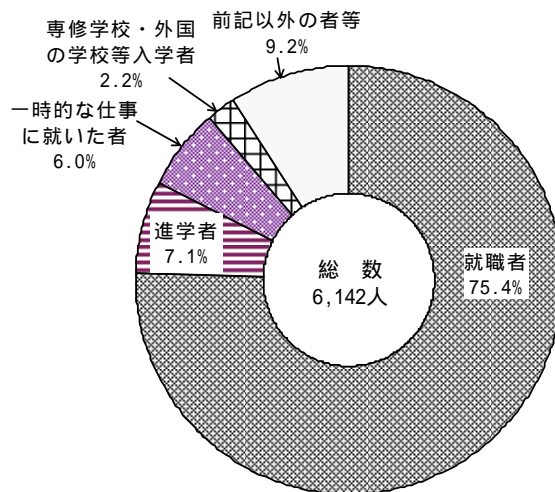
### (1) 卒業者数

卒業者数は、6,142人（男子444人、女子5,698人）で、前年に比べ278人（4.3%）減少しています。

進路別にみると、就職者が4,634人（構成比75.4%）、進学者が436人（同7.1%）、一時的な仕事に就いた者が368人（同6.0%）、専修学校・外国の学校等入学者が136人（同2.2%）、前記以外の者等が568人（同9.2%）となっています。

（図2-9,統計表第62表）

図 2-9 進路別卒業生数の割合（短期大学(本科)）



(2) 就職者総数

就職者総数は 4,634 人（男子 283 人、女子 4,351 人）で、前年に比べ男子が 12 人（ 4.1%）、女子が 3 人（ 0.1%）それぞれ減少しています。

就職率は 75.4% で、前年に比べ 3.0 ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が 63.7%、女子は 76.4% となっています。これを前年と比べると、男子が 0.6 ポイント低下、女子が 3.4 ポイント上昇しています。（表 2-9）

就職先を産業別にみると、医療、福祉業 1,522 人（構成比 32.8%）、製造業 810 人（同 17.5%）、教育、学習支援業 680 人（同 14.7%）の順となっています。

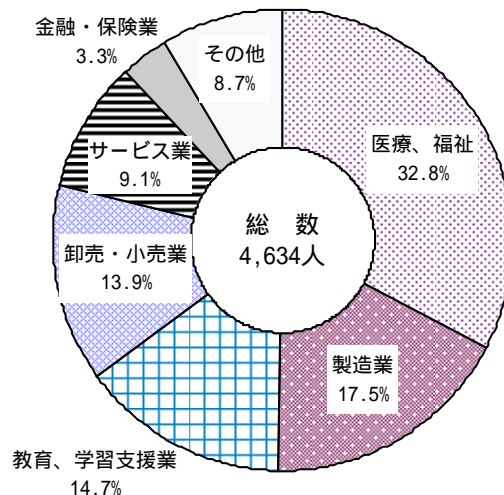
（図 2-10, 統計表第 63 表）

表 2-9 就職率の推移（短期大学(本科)）

単位：%、ポイント

区 分	総 数	対前年増減		女	対前年増減	
		男	対前年増減		女	対前年増減
平成14年3月	67.9	59.0	1.3	68.4	1.1	
15	67.9	66.3	0.0	68.0	0.4	
16	70.0	67.6	2.1	70.1	2.1	
17	72.4	64.3	2.4	73.0	2.9	
18	75.4	63.7	3.0	76.4	3.4	

図 2-10 産業別就職者数（短期大学(本科)）



## 7 盲学校・聾学校・養護学校中学部

中学部卒業生数は、379人（盲学校7人、聾学校26人、養護学校346人）で、進路別にみると、高等学校等進学者が353人（構成比93.1%）、専修学校（高等課程）進学者が16人（同4.2%）、専修学校（一般課程）等入学者が1人（同0.3%）、前記以外の者等が9人（同2.4%）となっています。

高等学校等進学者を学校種別にみると、盲学校が6人、聾学校が26人、養護学校が321人となっています。（図2-11,統計表第66表）

## 8 盲学校・聾学校・養護学校高等部

高等部卒業生数は、761人（盲学校21人、聾学校57人、養護学校683人）で、進路別にみると、就職者280人（構成比36.8%）、大学等進学者48人（同6.3%）、公共職業能力開発施設等入学者25人（同3.3%）、専修学校（専門課程）進学者4人（同0.5%）、専修学校（一般課程）等入学者が2人（同0.3%）、前記以外の者等が402人（同52.8%）となっています。（図2-12,統計表第67表）

大学等進学者を学校種別にみると、盲学校8人、聾学校34人、養護学校6人となっており、進学先は大学（学部）へ盲学校4人、聾学校8人、養護学校5人、短期大学（本科）へ聾学校3人、高等学校（専攻科）へ盲学校2人、盲・聾・養護学校高等部（専攻科）へ盲学校2人、聾学校23人、養護学校1人となっています。（統計表第68表）

専修学校（専門課程）進学者を学校種別にみると、養護学校4人となっています。（統計表第67表）

専修学校（一般課程）等入学者を学校種別にみると、聾学校1人、養護学校1人が各種学校への入学となっており、公共職業能力開発施設等入学者を学校種別にみると、養護学校25人となっています。（統計表第67表）

就職者を学校種別にみると、盲学校8人、聾学校19人、養護学校253人で、産業別にみると、製造業153人（構成比54.6%）、卸売・小売業32人（同11.4%）、サービス業26人（同9.3%）の順となっています。（統計表第69表）

図2-11 進路別卒業生の割合  
（盲・聾・養護学校(中学部)）

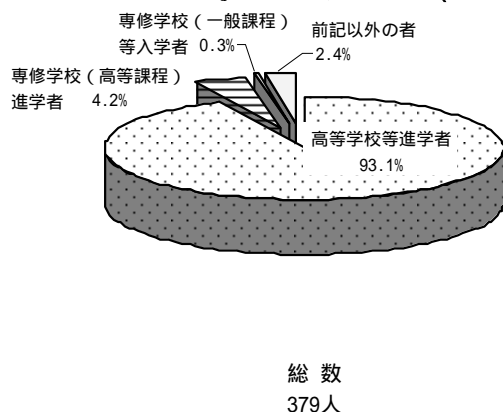
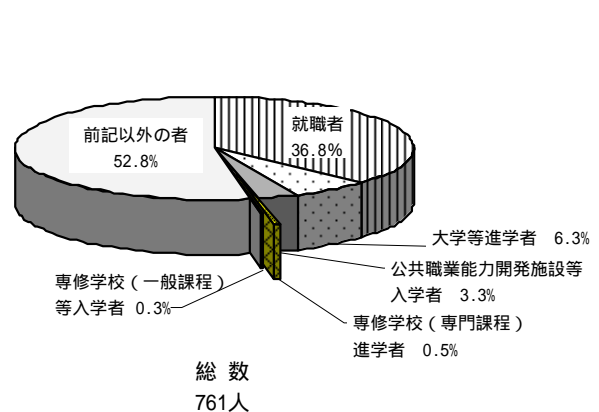


図2-12 進路別卒業生の割合  
（盲・聾・養護学校(高等部)）



## 不就学学齢児童生徒調査

平成 18 年度に市町村教育委員会から就学の免除又は就学の猶予を受けている者は、学齢児童（6～11 歳）が就学免除者 2 人、就学猶予者 88 人、学齢生徒（12～14 歳）が就学免除者 0 人、就学猶予者 39 人となっています。（表 3, 統計表第 72 表）

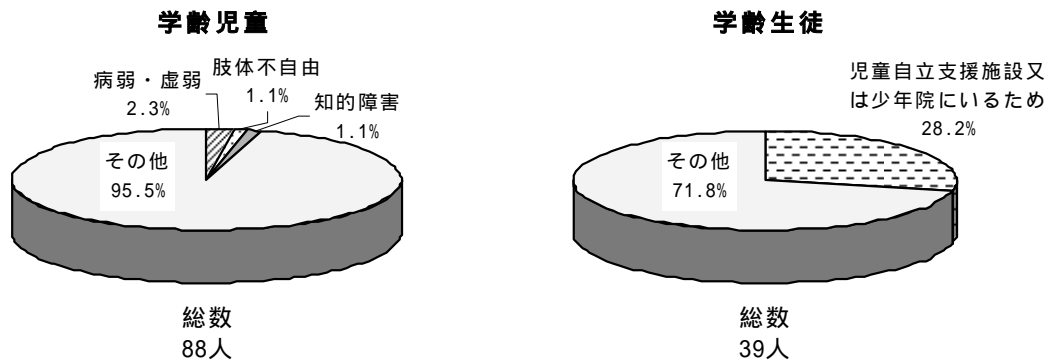
理由別にみると、学齢児童の就学免除者は、肢体不自由が 1 人、その他が 1 人となっており、就学猶予者は肢体不自由 1 人（就学猶予者数の 1.1%）、病弱・虚弱 2 人（同 2.3%）、知的障害 1 人（同 1.1%）、その他 84 人（同 95.5%）となっています。また、学齢生徒の就学猶予者は児童自立支援施設又は少年院にいるため 11 人（同 28.2%）、その他 28 人（同 71.8%）となっています。（図 3, 統計表第 71 表）

1 年以上居所不明者は 40 人で、前年度に比べ 6 人（17.6%）増加しています。児童・生徒別にみると、学齢児童は 29 人、学齢生徒 11 人で、前年度に比べ学齢児童は 2 人（7.4%）、学齢生徒は 4 人（57.1%）それぞれ増加しています。

平成 17 年度間の児童・生徒の死亡者数は 65 人で、前年度間に比べ 3 人（4.8%）増加しています。児童・生徒別にみると、学齢児童は 31 人、学齢生徒は 34 人で、前年度間に比べ学齢児童は 1 人（3.1%）減少、学齢生徒は 4 人（13.3%）増加しています。

（統計表第 71 表）

**図 3 理由別就学猶予者の割合**



**表 3 不就学学齢児童生徒数の推移**

単位：人，%

区 分	総 数	就 学 免 除 者				就 学 猶 予 者				
		学 齢 児 童		学 齢 生 徒		学 齢 児 童		学 齢 生 徒		
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		
平成14年度	63	103.2	2	0.0	-	-	43	95.5	18	157.1
15	73	15.9	1	50.0	1	-	55	27.9	16	11.1
16	87	19.2	1	0.0	-	-	63	14.5	23	43.8
17	96	10.3	2	100.0	-	-	73	15.9	21	8.7
<b>18</b>	<b>129</b>	<b>34.4</b>	<b>2</b>	<b>0.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>88</b>	<b>20.5</b>	<b>39</b>	<b>85.7</b>

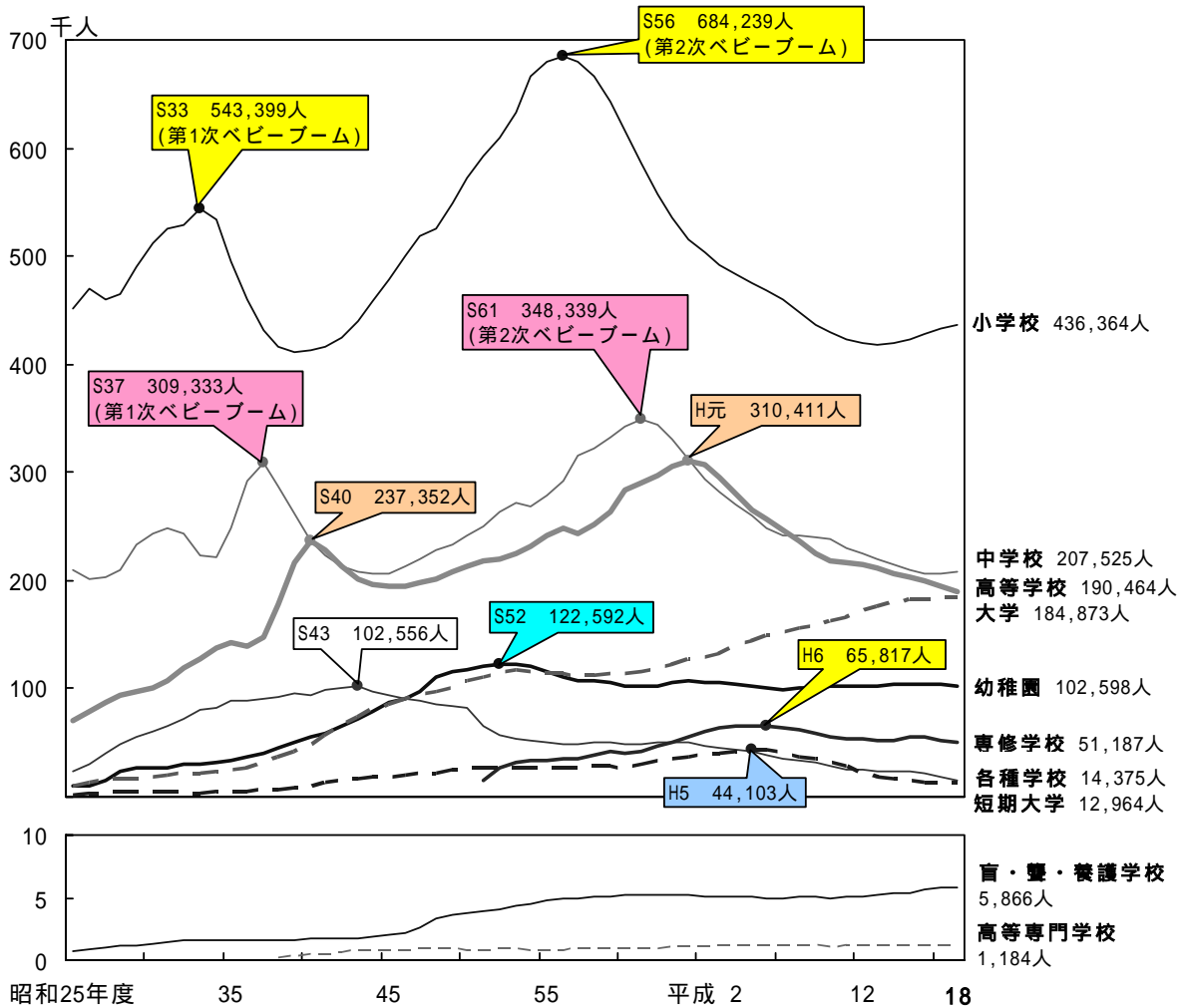


# 参 考 資 料

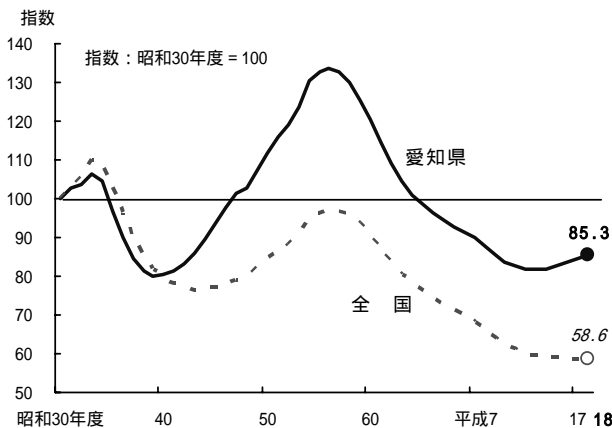
## グラフでみるあいちの学校

< 在学者数等の推移 >

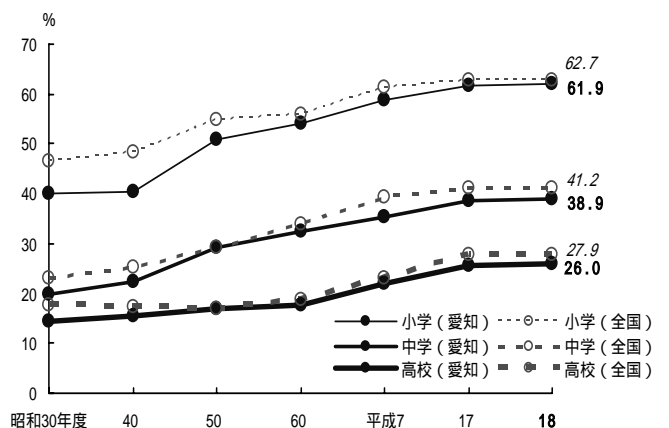
在学者数の推移



小学校児童数（指数）の推移

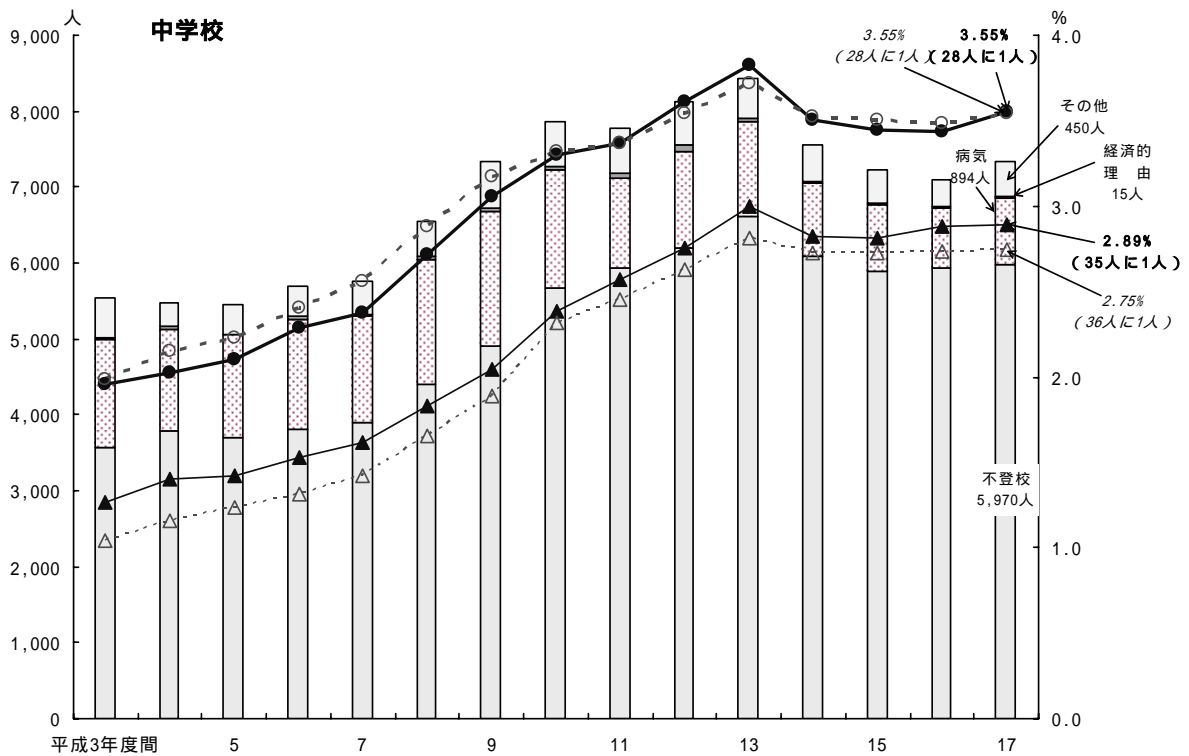
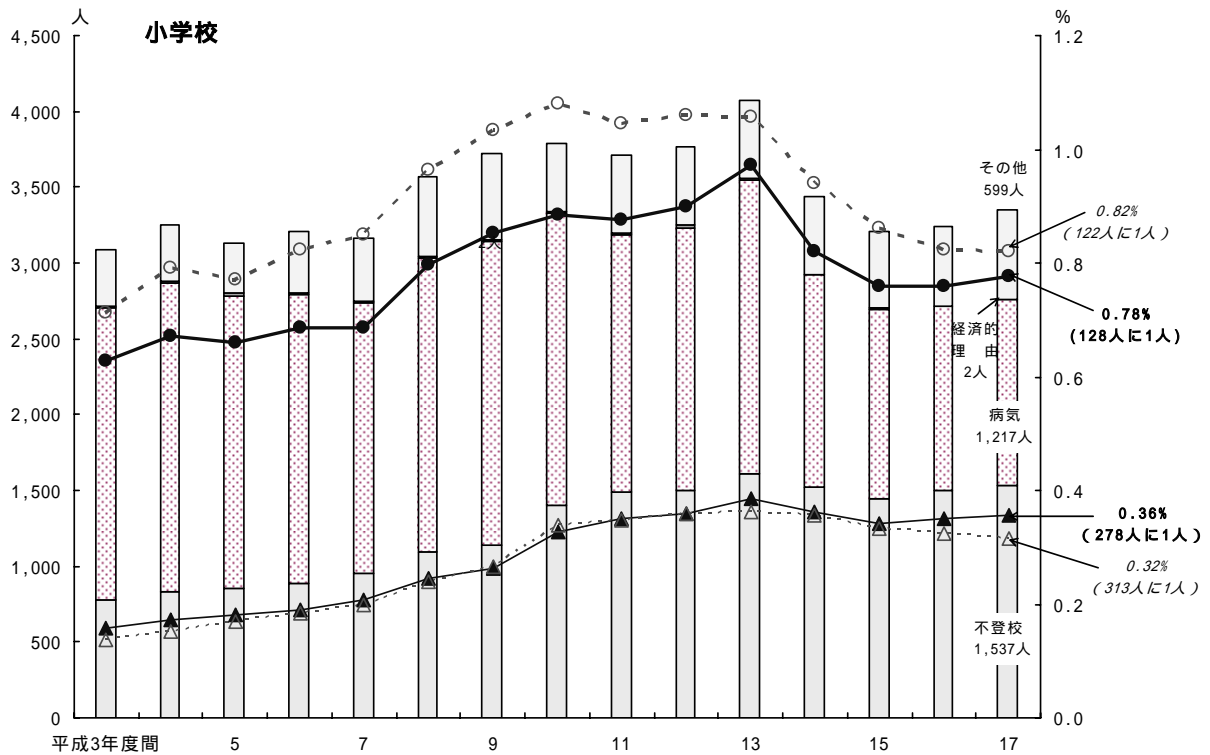


女性教員の割合の推移



# 全児童生徒数に占める理由別長期欠席者数の推移（小学校・中学校）

● 長欠率（愛知県） ▲ 不登校率（愛知県） ○ 長欠率（全国） △ 不登校率（全国）  
 長欠（不登校）率 = 長期欠席（不登校）者数 ÷ 全児童生徒数

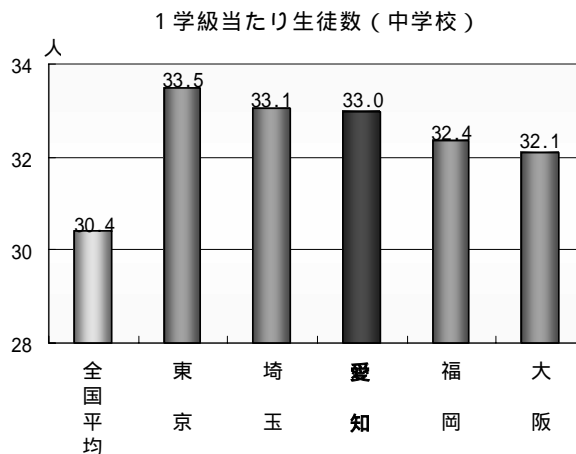
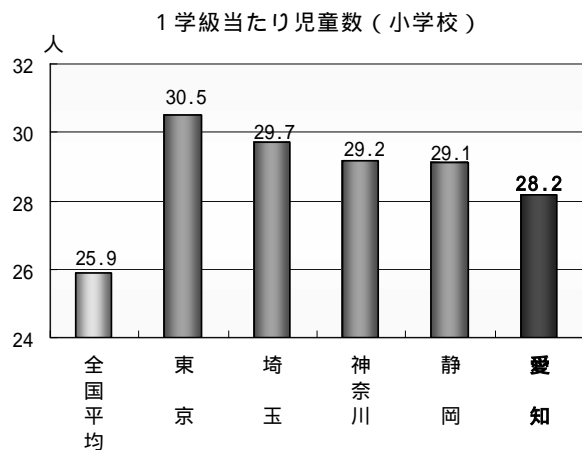




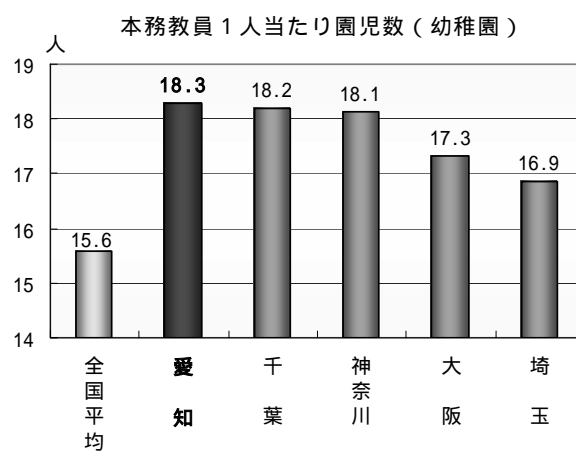
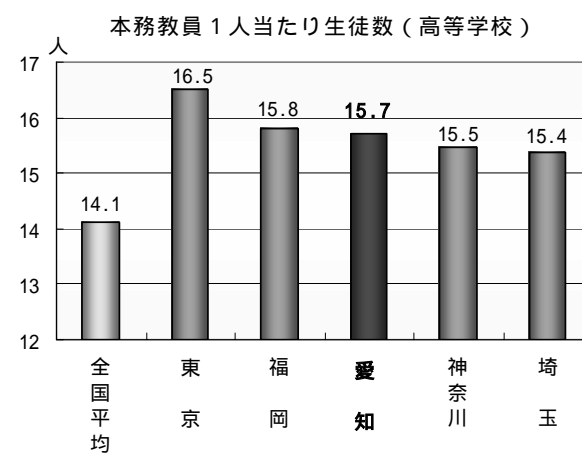
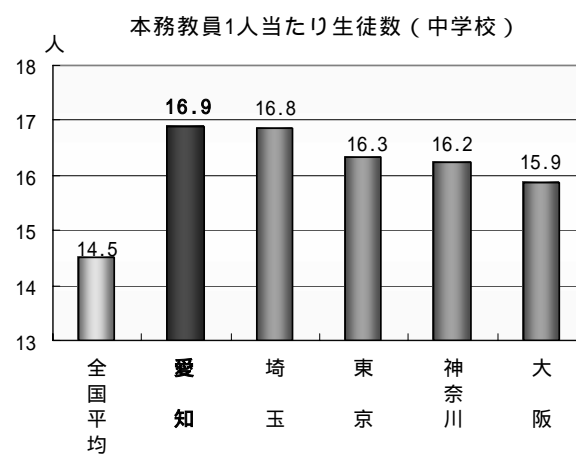
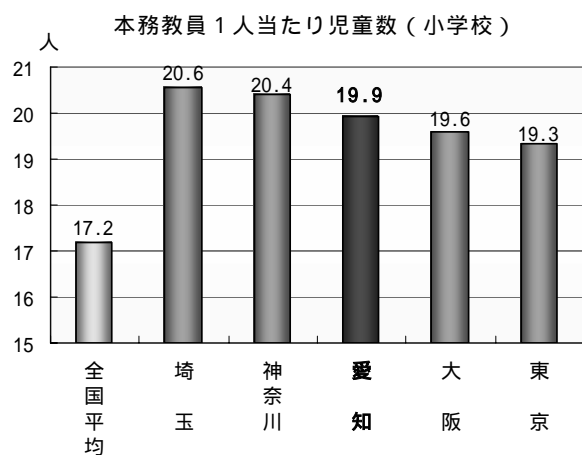
## - 他 県 と の 比 較 -

< 児童・生徒・園児・教員の状況 >

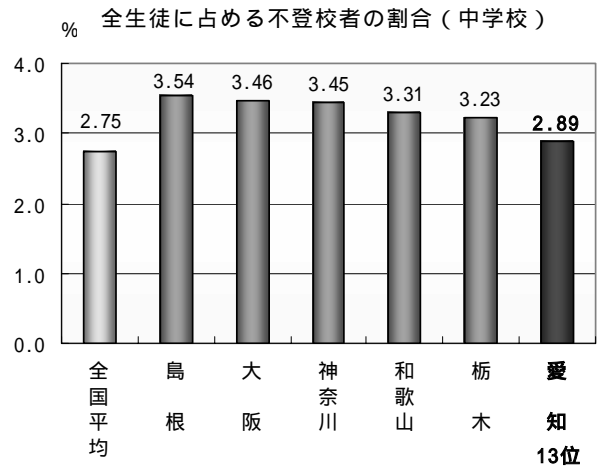
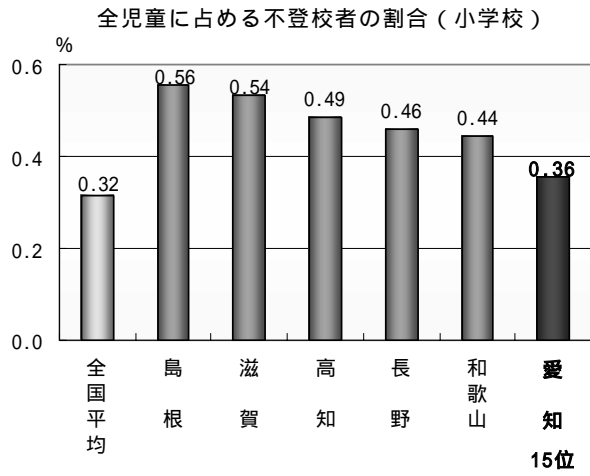
### 1 学級当たり児童生徒数



### 本務教員 1 人当たり児童生徒園児数

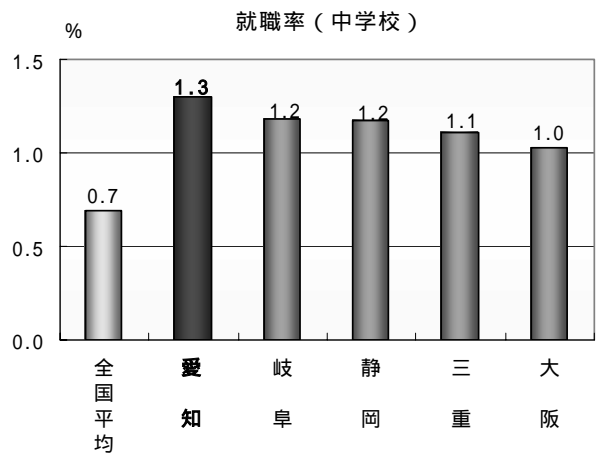
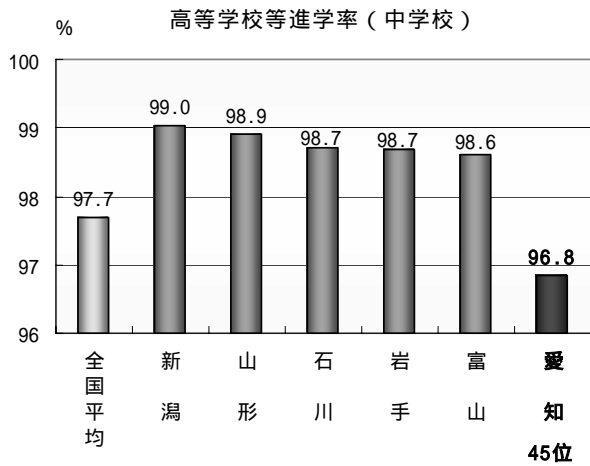


## 全児童生徒数に占める不登校者の割合

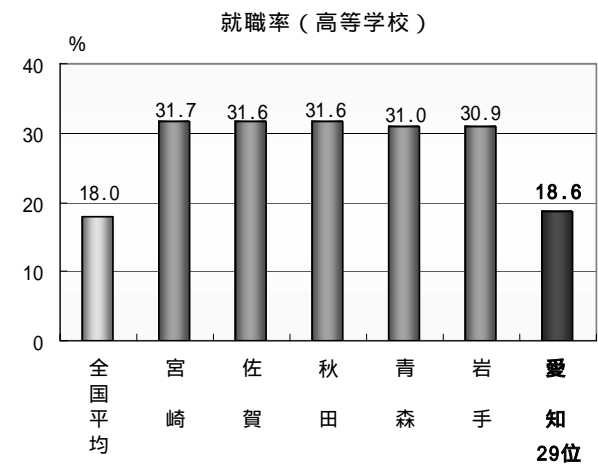
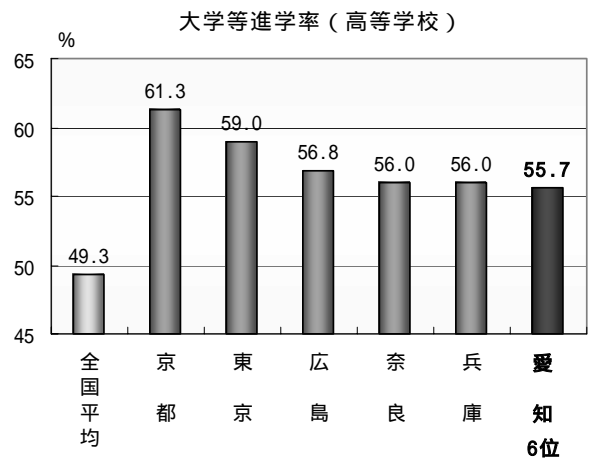


### < 進路の状況 >

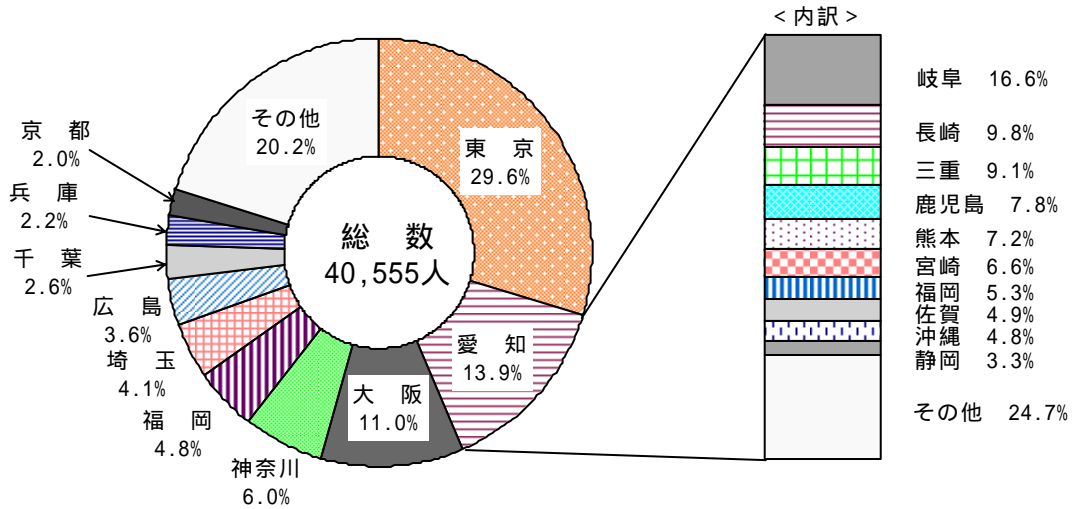
#### 中学校卒業生



#### 高等学校卒業生



### 全国の就職先別県外就職者数の割合（高等学校）



注 「大学等進学者」、「専修学校（専門課程）進学者」、「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職しているものを含む。

### 入学者の出身高等学校の所在地県別割合（大学(学部)・短期大学(本科)）

